# 令和6年度

# 事務事業評価シート (消防本部)

・消防総務課

| 頁~ 9頁

・警防課

10頁~ 14頁

・予防課

15頁

・消防署

16頁~ 19頁

菊川市

対象	年度	事業	会計区分	一般:	会計 担当	i課 消防		担当係		重点事業				  防庁舎等の設備の    軍転監視等の総合					・消防庁舎建設が		ており、経年劣ん	
R	6	ļ	事業名	常備消防療										里転監視寺の総合 :で庁舎を適切な環			必安は修		繕を実施するとと			
		基	本目標	4 快適	は環境で安心して	て暮らせるまち													必要がある。			
			政策	3 消防	 カを高めるまちつ	 づくり																
			施策		拖設∙設備•体制		 図ります					事						事				
					の充実強化を図			浄化槽等の施設領	<b>言理業務の発注を行</b>	い消防庁舎の適切な	:	事	戊					<del>漢</del>   課				
					方庁舎の適切な組 る的確な対応が			維持管理を行うとく。	ともに、建物の長寿	命化に向け検討してし	٠,	月	具					題				
総	体系			. [[(\)]	1 PE-0-71	-1 HE-6 XX-56 C 1	E IM 7 000															
合計	<b></b>						_				C											
画	概要	事業の					事   業				E											
	<u>y</u>	の目					の概				K	ш										
		的					要				評価					各評価結	果				総合判定評価	
												評	事	<b>業コスト評価</b>	指	漂評価		事業内容	評価 	A 計画	どおりに事業を進	めることが
												分析質	^	一般財源	成 1	В	Ē	平価視点	評価内容	A 適当		
												•   f		1.8% B B	果 2		効率性		A 現状維持		R8年度の方向性	ŧ
		予	款項		事業番号			事業名	称			総合上	ł. 🗀	事業コスト	効 1	А	有効性	7. [0] 0.	計画の進捗と成 に近い状態⇔「記	+	維持→ 成果	
		算		1		常備消防施設管 年増減 前			支出金 地方債	その他 一般財源		判		3.9%   A    ・画的に実施した修	率 経の他 竪	「	必要性		画通り」	改善	①事業の	進め方
		闬	R5年度 22,323			午 省 減 月 4,566,000	/*	オ源 <sup> 国庫支出金</sup>  県 ヨ訳      0		328,000 17,429,0		定担	旦	四町八〇大池のたり		心で呼んと大心	0/1 6 0/	歴 生 口 と 体 う こ に				
		)	·	,	, ,	, ,				, , ,		価   部	平									
			項		R4年度	R5年度	R6年度		事業費内訳			10	ш									
			予算 決算		31,848,000 31,175,589	22,323,000 22,077,814	17,757,000	) <u>節</u> 7 01 報酬	決算額 0 16 4	第 決算報 決算報	独 A O C	- fi	<b></b> 修繕計	画書の見直しを随	時行い、計			案と想定される成	<b>t果及び今後の方</b>	向性		
			不用		672,411	245,186		3 02 給料		請品購入費 305,1		加え	<b>У</b> 4ДИ1									
			執行	率	97.9%	98.9%	95.7%	03 職員手当等	0 18 #	担金、補助及び交付金	0 O	る										
	事			支出金	9,420,643	0	(	04 共済費	0 19 ‡		0 N	る変化										
		決	財	支出金 方債	5,400,000	3,600,000	(	<ul><li>05 災害補償費</li><li>06 恩給及び退職年</li></ul>	0 20 貨金 0 21 補	資付金 償、補填及び賠償金	o o 善											
	コス	第	内。	の他	330,260	347,444		00 税間数 24% 1		還金、利子及び割引料	0		款	項目	1	事業番号				事業名称		
	ト分	闩		般財源	16,024,686	18,130,370	16,635,227	08 旅費		设資及び出資金	0		9	1 1	1	500000	常備	#消防施設管理				
	分析			年比較		113.1% D	91.8% B	09 交際費 10 需用費	0 24 利		0				丰増減額	前年比	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人 総事業		701,000 31,876,589	975,000 23,052,814	30,000 17,029,797	7 11 役務費	6,062,442 25 <b>2</b> 215,931 26 4		0			15,989,000 △	、1,768,000 合管理業務	90.0% 委託	7,014	0	下	0	328,000	15,661,000
			前年	-	218.8% D	72.3% A	73.9% A	12 委託料	10,348,304 27 糸		0			<ul><li>浄化槽の保守</li><li>・消防庁舎の修行</li></ul>					期実			
				機設置手数			300,067		-	5備費	0	R £	!7   ₹   実						施			
			財電気法	料等使用者	1負担金		64,503	14   工事請負費     15   原材料費	0 合計	 	97	馬	度 施 内						容			
					比べ減額となっ			I			37		容						変			
		コス	主に、庁舎	照明LED	化工事の完了に	ニ伴う工事請負	費(令和4年度	4,367千円) 及び電気	気料減に伴うもので	ある。	Р								更 見 込			
		ト分									Ĺ	I.⊢		=1 = += +++	_ 124 \_ 5 - 5 - 5 - 7				み	1.1 <del>1.</del> /=	7 - 11	40.01.VE
С		分析									A N	実		計画額 前年 17,380,000	丰増減額 1,391,000	前年比 108.7%	財源 内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 372,000	一般財源 17,008,000
Н					事業指標・	評価		R4年度	R5年度	R6年度	取	計		・消防庁舎の総	合管理業務				R7 庁舎の	ン計画修繕増を見	込んでいることだ	
E				指標	名	単現物		目標値 実績値						<ul><li>・浄化槽の保守が</li><li>・消防庁舎の修行</li></ul>					年のかであります。	<b>්</b>		
K		指	成果			位 年 発 100		達成率 評価 100.0 100.0	達成率 評価 100.0 100.0			業							比較			
評価		標評		上半期に」 注を行う	事及び備品の	発   %   100	J.0 100.0	100.0 100.0 100.0% B	100.0% B	100.0% B	D								増			
		価	成果			0.0	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	一実		実						減			
	指標		2			0		0.000.0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 5 400 0 4 500	施	R	施						因	年度と同類和度	を見込んでいる。	
	•		効率 1	光熱水費0	O削減	千   3,90     円   1	0.0 3,600.0	3,600.0 5,145.0 70.0% D	3,600.0 5,802 62.0% D	.0 5,400.0 4,539. 119.0% A	0	全	平 容						R9 年	十戌と四領性及	を光込んでいる。	
	実施		•総合管理	業務委託	や浄化槽の法定	2検査、自動ドア	つのセンサー等		庁舎における維持管			13	Σ.						度			
	内																		増減			
	容	事業																	見込			
		実施																	み			
		内													L., > #- ^ -				「有効性と妥当性		= 1.4×7 N/BL → ^	<i>D 44</i> ±± 55 =
		容												民を災害から守ると 継続する必要があ		ノトに、常に力:	王は体制	を維持していくこ	とか人切であるこ	∠から、沽虭拠♬	<b>はと</b> はる消防庁舎	の維持官埋

$\longrightarrow$		<b>美会計区</b> 分	<b>子</b>   一般	会計 担当	課	消防総務	务課	担当係				重点事業						院での実習及			①職員の知識習得			
R6		事業名	常備消防	総務事業											育成	、各種研修に職員及び知識や能力	り向上が図り	られた。			め、今後も専科教②職員貸与品につ	ついては、経年	教育への派遣が 劣化等があるた	め更新してい
	基	基本目標	4 快適	な環境で安心して	て暮らせるま	<u></u>							1			防業務に必要な 入(4,156,988円)					必要がある。			
		政策	3 消防	力を高めるまちつ	づくり																			
		施策		技術の向上を目									-	事						事				
				るため、常備消		こより、割	静岡 7	教育や各科	重研修等 <i>σ</i>	)受講により、『	競員一人	一人のレベル	- 등 - 기록	事 業						業				
体系·概要	事業の目	県消防 <b>学</b>	学校等への!	哉員派遣や各種碌 を高め、消防力の	肝修等の受調	講を実施	重し、 事業の概	アップに取	り組む。				СНЕСК	果						題				
	的						要						評     価   <sub>=</sub>	_				各評価統	<b>吉果</b>				総合判定評価	5
														平	事業	コスト評価	指	標評価		事業内容	評価	D = #	*の准み士の359	±∞+>=+
													",		_	·般財源	成	1 B		平価視点	評価内容	── B 事第	美の進め方の改割 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	子りが失い
														f   算 ·   前		5.1% D	<b>#</b>	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R8年度の方向	 性
		款項	i 目	事業番号				:	事業名称				-	総 年	総三	事業コスト	効	1	有効性	4:高い	計画の進捗と成果		縮小↓ 成	果維持
	予算			700000	常備消防総	 務費								総合則 —		6.4% D	率		必要性	4:高い	に近い状態⇔「計 画通り」	改善	①事業の	進め方
	-	R5年	· 度 F	R6年度 前年	<b>丰増減</b>	前年比	747 (1)		出金 県支	出金 地方債	その作	也 一般財源		E H	①静	岡県消防学校等	手へ職員を <b>対</b>	派遣し、職員の	知識・技術	可習得と将来の	幹部職員育成に動	<b>繋がった。</b>		
	用	13,4	90,000	16,302,000	2,812,000	12	20.8% 内部	沢	0	0 0	2,0	16,300,000		担担当	(2)進	滞なく職員貸与	品を購入し	消防刀の維持・	「回上に繁	かつた。				
													1 1	· 一評 一個										
			項目	R4年度	R5年度		86年度			事業費内語				,,,,,										
			算額	15,074,000	13,490,0		16,302,000	飲		決算額	節	決算額	_ ^	30	<u> </u>	TO 40 / - ナンハン・ア・R	世 この 中 人				果及び今後の方向			
			算額	14,144,191	12,738,1		15,674,109			2,293,800 16					少災告	現場において、F	<b>瀬貝の安全</b>	官埋を徹底する	る為に買う	品の更新及び気	見直しについて検討	可を進めていく。		
			用額	929,809	751,80		627,891		- 11.64		備品購			Ž										
			行率	93.8%	94.	1%		03 職員				め及び交付金 4,154,500		多数比										
事			庫支出金	1,709,070		0		04 共済			扶助費		D N I I	Ł										
業	決	財	県支出金	0		0		05 災害			貸付金													
コーフ	算	****	地方債	001.475	010.0	0		06 恩給及 07 報償 3							±h	TB (	-	市米平口			ਰ	事業名称		
スト	闬	<b>=</b> ₽	その他 一般財源	831,475 11,603,646	210,98 12,527,2		1,752		Ę .	662,250 23					款 g	項		事業番号 700000	一	 請消防総務費	= =	<b>事未</b> 石		
· 分 析	]		一般射源 前年比較					08 旅貨 09 交際 9	弗		積立金				<del>-</del>		 年増減額	前年比		国庫支出金	県支出金	 地方債	その他	一般財派
析			<u>□ 平比較</u> ∴人件費	84.3% A 2,876,000	3,234,0		4,520,000			778,696 25							十 写 i		財源 内訳	四		地力很	2,000	
			メートリー 業コスト	17,020,191	15,972,1		20,194,109			230,533 26						, ,	,			(命士)への職員	派遣 下		2,000	10,000
			来コヘド 年比較	106.3% D	93.8% E		6.4% D			230,533 20						職員貸与品の関			17 (12/12/12		期			
		4-7				, 120.		13 使用料			予備費			R7	,						実施			
		<u> </u>		保険事務取扱手		+		14 工事		0	) III A		4	_							内			
		源	370101111111		×17	+-					<u>-</u> +			年	実									
		****						15 原材 1	料智	0 4	161	15.674.109	9	R7 年 度	実施内						容			
	コスト	総事業コ主に令和	コストは、前: ロ5年度から	年度に比べ増額と 令和6年度にかり	たなった。 けての債務負	<u></u> 担により		15 原材料		, L		15,674,109 のである。	P	度	実施内容						容変更見込			
	ス	総事業コ主に令和	コストは、前: 05年度から	∓度に比べ増額と 令和6年度にかけ	たなった。 けての債務負							, ,	P L A 写		容		年増減額	前年比	財源	国庫支出金	容	地方債	その他	
	スト	総事業コ主に令和	1ストは、前: 05年度から	令和6年度にかり	けての債務負			職員貸与品	品による備	品購入費の増		のである。	P L A N 写行	<b>■</b>	容		年増減額 △ 359,000			国庫支出金	容変更見込み 宝 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	(	219,000	15,004
	スト	総事業コ主に令和	05年度から	令和6年度にかり 事業指標・3	けての債務負		り購入した	職員貸与品	品による備	品購入費の増 R5年度	に伴うも	のである。 R6年度	P L A N 取 li	<b>₹</b> †	容					国庫支出金	容変更見込み 県支出金 0 R7 救急救:	( 命東京研修所		15,004 職員派遣る
	スト	総事業コ主に令和	05年度から	令和6年度にかり	ア価 単しま	現状値	り購入した間	職員貸与品	品による備 F度 実績値	品購入費の増 R5年度 目標値 実	に伴うも	のである。 R6年度 目標値 実績値	PLAN取り組	写 十 回 耳	容					国庫支出金	容変更見込み 出 金 0 数 i 数 i	( 命東京研修所	(救急救命士)へ	15,004 職員派遣を
	スト分析指	総事業=主に令和	旧5年度から	令和6年度にかり 事業指標・i 票名	ア価 単 型		り購入した間	職員貸与品	品による備	品購入費の増 R5年度 目標値 実: 達成率 言	に伴うも	のである。 R6年度	PLAN取り組み・	是丁十回事業	容					国庫支出金	容変更見込み 出金 0 数 m 回	( 命東京研修所	(救急救命士)へ	15,004 職員派遣を
	スト分析 指標	総事業=主に令和	05年度から	令和6年度にかり 事業指標・i 票名	ア価 単 型	現状値年度	り購入した	職員貸与品 R4年 目標値 達成率	品による備 F度 実績値 評価	R5年度 目標値 実 達成率 記 25.0 2	に伴うも 積値 呼価 :	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価	PLAN取り組み・D	是丁十回春美 月	容					国庫支出金	容変更見込み       金       0       急し         果       取画       数画         場に       数       できない。         まで       大       できない。         おいた       できない。       できない。         おいた       できない。       できない。         ないます       できないます       できない。         ないます       できないます       できないます         ないます       できないます       できないます	( 命東京研修所	(救急救命士)へ	15,004 職員派遣を
	スト分析指	総事業二主に令和	旧5年度から	令和6年度にかり 事業指標・i 票名	評価 単 耳	現状値年度	り購入した	R4年 目標値 達成率 24.0	Rによる備 F度 実績値 評価 24.0	R5年度 目標値 実 達成率 言 25.0 25 100.0%	(に伴うも 積値 呼価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B	PLAN取り組み・DO	是丁十回事業	内容					国庫支出金	容変更見込み 支     金     0     急し       果     取画       製板	( 命東京研修所	(救急救命士)へ	15,004 職員派遣を
指	スト分析 指標評	総事業二主に令和	旧5年度から	令和6年度にかり 事業指標・i 票名	評価 単 耳	現状値 年度 21.0	り購入した 目標値 年度 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0%	Rによる備 F度 実績値 評価 24.0 B	R5年度 目標値 実 達成率 言 25.0 25 100.0%	に伴うも 積値 呼価 :	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B	PLAN取り組み・D	医丁十回肾炎 可二	内容 実施					国庫支出金	容変更見込み       金       0       急し         果       取画       数画         場に       数       できない。         まで       大       できない。         おいた       できない。       できない。         おいた       できない。       できない。         ないます       できないます       できない。         ないます       できないます       できないます         ないます       できないます       できないます	( 命東京研修所	(救急救命士)へ	15,004, 職員派遣を
指標	スト分析 指標評	総事業の	15年度から指導を表現しています。 おおま おおま おおま おおま おおま おまま おまま おまま おまま おま	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数	評価 単 耳	現状値 年度 21.0 1 0.0	り購入した 目標値 年度 0.0 7 0.0	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0%	Rによる備 F度 実績値 評価 24.0 B	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	(に伴うも 積値 呼価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B	PLAN取り組み・DO実	医丁十回肾炎 可二	内容 実施					国庫支出金	容変更見込み 出     金 0 急し       県     取画       救回     救       換     次	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004 職員派遣を ごいる。 職員派遣を
指標・	スト分析 指標評	総主 事 中 成 1 成 2 効 1	D5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 月	内容 実施					国庫支出金	容変更見込み 支       ま       R7年度比較増減要因       89年         水画       数画       数画	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで	15,004 職員派遣を でいる。 職員派遣を
指標・実施	スト分析 指標評	総主 成 1 展 2 効 1 間 明	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	医丁十回肾炎 可二	内容 実施					国庫支出金	容変更見込み 支     の急し       東     7年度比較増減要因       製加       教画	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004 職員派遣る ごいる。 職員派遣る
指標・実施内	スト分析 指標評	総主 成 1 展 2 効 1 間 明	D5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	医丁十回肾炎 可二	内容 実施					国庫支出金	容変更見込み 支       ま       7年度比較増減要因       89年度増減         水回       教回       教回	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004 職員派遣る ごいる。 職員派遣る
指標・実施	スト分析 指標評価 事	総主 成 1 展 2 効 1 間 明	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 可二	内容 実施					国庫支出金 0	容変更見込み 支       3       R7年度比較増減要因       89年度増減見         会し       教画       教画	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004 職員派遣を でいる。 職員派遣を
指標・実施内	スト分析 指標評価 事業	総主 成 1 展 2 効 1 間 明	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 可二	内容 実施					国庫支出金 0	容変更見込み 支       ま       7年度比較増減要因       89年度増減         水回       教回       教回	の東京研修所いないことによ の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004. 職員派遣を ごいる。 職員派遣を
指標・実施内	スト分析       指標評価       事業実施	# # #   成 1	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 可二	内容 実施			97.7%	内訳	0	容変更見込み 支の 急し88 <t< td=""><td>の東京研修所いないことによ 命東京研修所 ることによる増富</td><td>219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ</td><td>15,004, 職員派遣を ごいる。 職員派遣を</td></t<>	の東京研修所いないことによ 命東京研修所 ることによる増富	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ	15,004, 職員派遣を ごいる。 職員派遣を
指標・実施内	スト分析 指標評価 事業実施内	# 1	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 可二	内容 実施内容	15,223,000	△ 359,000	事業の目	内訳	内容との関連性	容変更見込み 支気の 急し数画窓中度増減見込み性会教画数画数画数画がしおし当がし数数と大大で </td <td>の東京研修所いないことによ 命東京研修所の東京研修所 の東京研修所</td> <td>219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ 額を見込んでいる</td> <td>職員派遣を</td>	の東京研修所いないことによ 命東京研修所の東京研修所 の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ 額を見込んでいる	職員派遣を
指標・実施内	スト分析       指標評価       事業実施	# 1	四5年度から 指 救急救命 救急救命	令和6年度にかり 事業指標・ 票名 士数 士資格者の採用 や救急救命東京码	評価 単 玉	現状値 年度 21.0 1 0.0 0 0.0	目標値 年度 0.0 7 0.0 0 0.0 7	R4年 目標値 達成率 24.0 100.0% 0.0	F度 実績値 評価 24.0 B 0.0	R5年度 目標値 実i 達成率 ii 25.0 2: 100.0% 0.0 0	に伴うも 積値 評価 : 5.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 26.0 26.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	是丁十回春美 可二	内容 実施内容	15,223,000	△ 359,000	事業の目	内訳	内容との関連性	容変更見込み 支の 急し88 <t< td=""><td>の東京研修所いないことによ 命東京研修所の東京研修所 の東京研修所</td><td>219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ 額を見込んでいる</td><td>15,004. 職員派遣を ごいる。 職員派遣を</td></t<>	の東京研修所いないことによ 命東京研修所の東京研修所 の東京研修所	219,000 (救急救命士)へ る減額を見込んで (救急救命士)へ 額を見込んでいる	15,004. 職員派遣を ごいる。 職員派遣を

	協力事業所及び
● 第一日	
1	
### 1 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1	
中央の行政の対象の対象の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
### Part	
1	
日本	
### 20 1 2 90000	
大学   1   1   1   1   1   1   1   1   1	
Part	平価
日本	
1   1   2   200000	<b>対善の検討</b>
京田   日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1	<b>向性</b>
日本の	成果 維持→
日本学校   日本学校	業の進め方
### 1902-05   1903-05	
項目   日本経版	舌動するメリット
接着機   22,393,300   22,393,000   24,503,200   1 特別   1 日本	
# 不用語	
報行車	要性や活動に対
## 1	
大学   1	
# 2	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
新年比較 96.7% B 83.3% A 10.11% D 89.7% 表 2.000 2.44 指立金 0 0	
機能人件費	一般財源
前年比較   100.8%   D   74.1%   A   100.5%   D   12 季託料   D   27 韓田金   D   上   お店園を開発保管金   S.277.000   13 元和53.01元   S.5750   予修費   D   D   D   D   D   D   D   D   D	00 20,818,00
大きな   100   10	
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	
20   10   10   10   10   10   10   10	
Pack	
R	
The part	
Table   Ta	一般財源
指標名   単   現状値   目標値   実績値   目標位   実績値   目標位   実績値   目標位   目標値   実績値   目標位   実績値   目標位   実績値   目標位   実績値   目標位   実績値   目標位   実裁値   目標位   実績値   目標位   実裁値   目標位   目標位   実裁値   目標位   実裁値   目標位   実裁値   目標位   実裁値   目標位   実裁値   目標位   まる本   目標位   目標位   実裁値   目標位   まる本   目標位   まる本   目標位   目標位   まる本   目標位   まる本   目標位   目標位   まる本   目標位   目標位   まる本   目標位   目標位   目標位   目標位   まる本   目標位   目標位   目標位   まる本   目標位   目標位   目標位   目標位   まる本   目標位   目述の   目記の   目述の   目述の	, ,
指標名   位   年度   年度   達成率   評価   達成率   評価   達成率   評価   達成率   評価   達成率   評価   港級   地区自治会への団員確保協   回   11.0	
指標   成果	
Tangle	
指標・実施内容	
「	
実施内容     1 明     日 7 100.0% B	
施内容 事業 (多) (多) (本) (別所) 団負 返職報債 金を文田した。 (②消防団活動に必要な個人装備品を購入した。 (③消防団広報誌の発行及び継続認定を実施した。 (④消防団広報誌の発行及び消防団募集リーフレットを作成した。 (⑤) 準中型自動車免許取得費補助金を交付した。 (⑤) 準中型自動車免許取得費補助金を交付した。 (⑤) 事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 (団員が活動しやすい環境づくりは消防団活動や団員確保のために必要不可欠であることから、一層の活動環境整備の	
容 事	
業 実	
A   A   A   A   A   A   A   A   A   A	
図   図   図   図   図   図   図   図   図   図	
Table   March   Ma	 ために業務の継

争集	<b>華</b>	業会計区	<u>fi</u> n	会計	担当課	消防総	☆珊	担当係				重点事業	0			・防火衣(26着	)及びエン	ジンカ	ッター(1 <sub>1</sub>	合)等を	購入(3,6	678,590円)		消防団員。	として長く	く活動してい	ただける団員が	増えてきている
	支 尹					用奶松	37分6木	担目係				里从争未				したことで、災害 た。								とめ、個人	装備品の	の更新整備を	検討していく必要	更がある。
R6		事業名		機材整備事業												<i>1</i> _0												
		基本目標			して暮らせる	まち																						
		政策		力を高めるま											重								事					
		施策			の維持・向上									事	業								業					
			の防災力の約により、消防					防災資機材	オ及び個人	装備品を	整備する。			業	成果								課題					
. 4	-		災害活動強化																				.—					
総合	<b>.</b>													С														
다   . 計   #	.   事	<u> </u>					事							H														
計 画 世 要	ま   第	ŧ					業の							C														
	E	1					概							K					AT.	== /== 4+							ᄵᄼᄼᆀᄱᄼᅼᆍᇎ	<b></b>
	ŕ	5					要							価						評価結	朱						総合判定評価	11
														価	<b>—</b>	事業コスト評価	曲	指	標評価				業内容評			A 計画 適当	回どおりに事業を	進めることが
														分 析	決	一般財源	月		1	В	1	評価視点		評価は	内容	10 三	<b>=</b>	
															前	54.7% A	A F	<b>#</b>	2		効率性	4:高		A 現状系			R8年度の方向	性
	7	款。	頁目	事業番号				1	事業名称					総合	年比	総事業コスト	交		1	S	有効性		15	†画の進捗 こ近い状態		コスト		果維持一
	掌	9 1	1 2	400000	消防団資					11.4	L/= 7.0	\ h	LYE	合判定評価		54.5% A			:	トかくに	必要性		い	画通り」		改善改善	①事業の ①事業の	
	戶	R54		3,707,000	前年増減 △ 3,241,000	前年	·比 財 53.4% 内	* *****	出金 県支出 0 1,177,0				7源	定	担	·新八回貝へ版 きた。	別寺で干	一州に貝	サレだこ	<u>د ره کی ا</u>	当1~貝依	そうない		15000	泊野肥ノ	カの向工及し	では割引に合いる	女主が惟休
	_	, <del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>	348,000	3,707,000	Z 3,241,000		33.4%		0 1,177,	.000	0 120	5,000 2,4	32,000	価														
			項目	R4年度	R5年	隻	R6年度			事業費	<b>費内訳</b>				価													
		Ť	予算額	4,139,0	00 6,94	3,000	3,707,000		ī	決算額	負	<b>う</b>	算額	Α								案と想定さ						
			決算額	3,930,1		3,339		01 報酬			16 公有原			C 加	•資格	様材の適切な維	持管理に	:努める	とともに、	資機材	取り扱い	いの習熟度	を上げる	<b>分研修、訓練</b>	練を計画	前的に実施し	ていく。	
			不用額 執行率	208,8 95		9,661		02 給料 03 職員引	<b>千业学</b>		17 備品		78,590	l え														
			国庫支出金	90.	0	0.7%	99.2%	03 職員 7		0	19 扶助		0	る変化														
事業			県支出金	1,028,0	•	9,000	1,178,000	05 災害裕		0	20 貸付		0	改化														
# =	き   汐	財	地方債		0	0	0	06 恩給及7	び退職年金	0	21 補償、補	填及び賠償金	0	善														
7	·   F	[	その他	228,8		1,000		07 報償費	費	_	22 償還金、		0		款	項	目		事業						事	業名称		
L		] ""	一般財源	2,673,3	37 4,33	3,339	2,372,590	08 旅費			23 投資		0		9	1 1	2		4000	IOO	消収	防団資機材	<b>İ整備費</b>					
5		_	승수 CL #☆	00.0%	1 60 00/		4 70/ 4	ᅂᄼᅷᄧᅄᆥ	<b>#</b> .	^	04 珪六	~~	0			マ 笠 畑	<b>並左接</b>	4 次式 安石						- 日士山み	~	业士佳	スの出	
分析		<u> </u>	前年比較	90.0%			54.7% A 191.000				24 積立		0			予算額 5,671,000	前年増		前年	比	財源	国庫支		県支出金 1.740.0		地方債	その他 291,000	一般財源 3,640,0
析		職員	前年比較 員人件費 事業コスト	90.0% 495,0 4,425,1	00 38	D 5.339	191,000	09 交際費 10 需用費 11 役務費	費	0	24積立25寄附26公課	金	0 0			5,671,000	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	1,740,0		地方債	その他 291,000	
材		職員総事	員人件費	495,0 4,425,1	00 38	3,000 5,339	191,000	10 需用費	費	0	25 寄附	金費	0 0 0			5,671,000	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支	出金 0 等)の更新	1,740,0 新   下   新   期		地方債		
材		職員総事前主地	員人件費 事業コスト 『年比較 『震・津波対策	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付	00 38 90 7,10 B 160.6% 金	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料	費 費 料 及び賃借料	0	25 寄附26 公課	金 費 金	0 0 0 0		R7 年	5,671,000	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	1,740,0 新 下 新 期 実 施		地方債 (		
分析		職員総事前主地	員人件費 事業コスト J年比較	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付	00 38 90 7,10 B 160.6% 金	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料 14 工事詞	費 費 料 及び賃借料 青負費	0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備	金 費 金 費	0 0 0 0		R7 年度	5,671,000 •分団へ酉 •新入団動	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	1,740,6 新 下期実施内容		地方債 (		
材		職員総事前地消	員人件費 事業コスト 近年比較 虚・津波対策 が団員等公別	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 务災害補償等	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料	費 費 料 及び賃借料 青負費	0	25 寄附 26 公課 27 繰出	金 費 金 費	0 0 0 0 0		年	5,671,000	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	新新 新		地方債 (		
分析	=	職員事前地消業・統主は、業・統一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 『年比較 『震・津波対策	495.0 4,425.1 93.9% 等減災交付 務災害補償等	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料 14 工事詞	費 費 料 及び賃借料 青負費	0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備	金 費 金 費	0 0 0 0 0		年	5,671,000 •分団へ暦 •新入団動	1,9	964,000 G機材(	前年	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	1,740.		地方債		
が	= \times   = \times   \tau   = \times   \tau	職員事前地消業・備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 近年比較 は震・津波対策 が団員等公利	495.0 4,425.1 93.9% 等減災交付 務災害補償等	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料 14 工事詞	費 費 料 及び賃借料 青負費	0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備	金 費 金 費	0 0 0 0 0	P	年	5,671,000 •分団へ暦 •新入団動	1,9	964,000 G機材(	前年消火用ホ	比 153.0% 一ス、打	財源 内訳 2光器及	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更新	1,740.		地方債		
分析	=	職の場合を表現しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 近年比較 は震・津波対策 が団員等公利	495.0 4,425.1 93.9% 等減災交付 務災害補償等	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託米 13 使用料 14 工事詞	費 費 料 及び賃借料 青負費	0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備	金 費 金 費	0 0 0 0 0 78,590	P L A: 実	度	5,671,000 • 分団へ配 • 新入団団 実 施内容	1,8 記備する資 員に貸与す 前年増	964,000 €機材( する被服	前年 消火用ホ 資等の購 <i>込</i> 前年	比  153.0%   一ス、打                   	財内 受光器 受光量(こ) 財源	国庫支び発電機等	出金 0 等)の更続 く衣を更	1,740.4 新新 県 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	000 £	地方債	その他	3,640,00
С	=     =	職の場合を表現しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 近年比較 は震・津波対策 が団員等公利	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額と に伴うもので	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 なった。 がある。	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 54.5% A 1,178,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事記 15 原材料	費 費 公び賃借料 青負費	0 0 0 0 0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備	金費 金費 3,6		N 行	年度	5,671,000 • 分団へ區 • 新入団動 実施内容 計画額 8,376,000	1,8 記備する資 員に貸与す 前年増 2,7	964,000 受機材( する被服 する被服 自滅額 705,000	前年の購入	比  153.0%  一ス、打  人及び E	財内 器質 対内 器質   財内 器	国庫支 び発電機等 与する防火	出金 (す)の更新 (大衣を更) (大衣を更) (大衣を更)	1,740.0 新新 ・ 期実施内容変更見込み 立 ・ 2,117.0 ・ 2,117.0	000	地方債	291,000 その他 332,000	一般財源
C H E	=     =	職の場合を表現しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 1年比較 2震・津波対策 が団員等公利 コストは前年 莆品購入費減	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額と に伴うもので	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 なった。 ある。	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事記 15 原材料	世界のなのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0 0 0 0 0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備 合計	金 費 金 費 R6年度		N   行 取   計 し	度	5,671,000 •分団へ酉 •新入団動 *新入団動 *新入団動 *新入団動	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	図庫支 び発電機等 与する防火	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 2,117.0 東 2,17.0 東	000	地方債プの更新整	その他	一般財源
O H E C	=     =	職の場合を表現しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員人件費 事業コスト 近年比較 は震・津波対策 が団員等公利	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額と に伴うもので	00 38 90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 なった。 がある。	3,000 5,339 D 5	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事記 15 原材料	費 費 料 及び賃借料 青負費 料費 単 実績値	0 0 0 0 0	25 寄附 26 公課 27 繰出 予備 合計	金 費 金 費 3,6 目標値 実	績値	N 取り組 行計画事	度	5,671,000 •分団へ酉 •新入団動 *新入団動 *新入団動 *新入団動	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 新新 県 2,1117.0 日本 1,740.0 日本 2,1117.0 日本 1,740.0 日本	600 全 000 可搬ポン	地方債プの更新整	291,000 その他 332,000	一般財源
СНЕСК	ト: コントラ村 打	職のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	員人件費 事業コスト 7年比較 2震・津波対策 3版団員等公利 コストは力費 前品購入費減 指格	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額と に伴うもので	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 たなった。 *ある。	3,000 6,339 D 5 成金	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事記 15 原材料	費 費 料 及び賃借料 青負費 料費 単 実績値	0 0 0 0 0	25 寄附 26 公課 27 繰出 合計 合計	金 費 3,6 目標値 達成率	績値 平価 4.0	N取り組み・ 行計画事業	度	5,671,000 •分団へ酉 •新入団動 *新入団動 *新入団動 *新入団動	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 新新 県 2,117.0 第 2 1,117.0 日本 2 1,117.0 日	600 全 000 可搬ポン	地方債プの更新整	291,000 その他 332,000	一般財源
С Н	ト		員人件費 事業コスト 1年比較 2震・津政対策 3防団は新費 11日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額を に伴うもので 事業指 票名	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 ニなった。 ぎある。	3,000 5,339 D 5 成金 現状値 年度	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事記 15 原材料 R4年 目標值 達成率	世界のなのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0 0 0 0 0 0 0 1 目標値 達成率	25 寄附 26 公課 27 繰出 合計 合計	金 費 金 費 3,6 目標値 達成率 93.0	績値 平価 4.0 B	N取り組み・D 行計画事業 円	度	5,671,000 •分団へ酉 •新入団動 *新入団動 *新入団動 *新入団動	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 新新 県 新新	600 全 000 可搬ポン	地方債プの更新整	291,000 その他 332,000	一般財源
C H E C K 評価 ————————————————————————————————————	トデーニント分析 指標記位	職総	員人件費 事業コスト 1年比較 2震・津政対策 3防団は新費 11日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間では 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で 1日間で	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 務災害補償等 に比べ減額を に伴うもので 事業指 票名	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 たなった。 *ある。	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事部 15 原材料 目標値 達成率 92.0	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 目標値 達成率 93.0	25     寄附       26     公繰       27     操       合計       专       実     (       要     (       93.0	金 費 金 費 3,6 目標値 達成率 93.0	績値 平価 4.0 B	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度	5,671,000 ・分析入 ・新和 画額 8,376,000 ・新入 団団 ・新入 団 ・ 新入 団 ・ 新入 団 ・ 新入	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 新新 県 新新 県 第	600 全 000 可搬ポン	地方債プの更新整	291,000 その他 332,000	一般財源
C H E C K 評価 	ト データー おおき おおき は こうしん おおき は ままれる は まままな まままな は まままな ままままな は ままままな は まままな は まままな ままままな は ままままな は まままな は ままままな は まままな まままな は ままままな ままままな は まままままままま		員人件費   大件費   大件費   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 务災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団政整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 でなった。 である。 標・評価 単位	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 1 e	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事 15 原材料 15 原材料 15 原材料 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	世 世 は は は は は は は は は は は は は	852 目標値 達成率 93.0 100.0%	25     寄附課       26     公繰       27     零       合計        度     票       93.0        B     0.0	金 費 金 費 3,6 目標値 実 達成率 93.0 101.1% 0.0	績値 平価 4.0 B	N取り組み・DO 行計画事業 円〕	年度 R8	1	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新 県 新新 県 2,117.7年度比較増減要因 会 2,117.7年度比較増減要因 会 2,117.7年度比較増減要因 会 2,117.7年度比較増減要因 会 2,117.7年度 と 3,174.7年度	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
C H E C K 評価 指標・	コントタ村   指標評価		員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 1 世標値 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 7 合計 合 計 93.0 B	金 費 金 費 3,6 目標値 実 達成率 93.0 101.1% 0.0	績値 平価 4.0 B	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8	5,671,000 ・分析入 ・新和 画額 8,376,000 ・新入 団団 ・新入 団 ・ 新入 団 ・ 新入 団 ・ 新入	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0 新新	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	291,000 その他 332,000	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標·実施	コント分析   指標語位   1		員人件表 (本)	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度	1	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標・実旅内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職総	員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8	1	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 	コントタ村   指標記句   事	Table   Ta	員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8	1	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標・実旅内	コントタ村   指標記句   事業		員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8	1	1,5 記備する資 前年 増 2,7 記備する資	964,000 受機材( する被服 自滅額 705,000 受機材(	前年の購入前年	比  153.0%  一ス、打  入及び E	財内 光員   財内 光員   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器に   別訳   器	国庫支 び発電機等 与する防火 国庫支	出金 等)の更 大衣を更 出金 等)の更 等)の更	1,740.0	<u>金</u> 000 可搬ポン 刃である	地方債 プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標・実旅内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8年度	実施内容	1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6	964,000 6世 105,000 105,00	前年の開発を表現しています。	比  153.0%   一ス、打   人及び E   147.7%   一及び E	対内 光員   財内 光員   財内 光員   東京 器に   実に   東京 器に   実に   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東	国庫 電防火 支 機が 大 変 との 原内容 との による という	出金 0 更更	1,740,0   1,	6000 一の000 可搬ある。 令和8年	地方債プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標・実旅内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8年度	1	1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6	964,000 6世 105,000 105,00	前年の開発を表現しています。	比  153.0%   一ス、打   人及び E   147.7%   一及び E	対内 光員   財内 光員   財内 光員   東京 器に   実に   東京 器に   実に   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東	国庫 電防火 支 機が 大 変 との 原内容 との による という	出金 0 更更	1,740,0   1,	6000 一の000 可搬ある。 令和8年	地方債プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要
CHECK評価 指標・実旅内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		員人件 す年 は 大件 は では では では では では では では では では	495,0 4,425,1 93.9% 等減災交付 等災害補償等 に比べうもので 事業指 票名 団整備	90 7,10 B 160.6% 金 等共済基金助 になった。 意ある。 標・評価 単位 貸与す %	3,000 6,339 D 5 成金 現状値 年度 0.0 1 0.0 0 0.0	191,000 3,869,590 64.5% A 1,178,000 128,000 128,000 7 0.0 7 0.0 0 0.0 7	10 需用費 11 役務費 12 委託料 13 使用料 14 工事計 15 原材料 15 原材料 0.0 101.1% 0.0 12.0 92.3%	世 世 は は は は は は は は は は は は は	0 0 0 0 0 0 0 0 <b>E標値</b> 達成率 93.0 100.0%	25 寄附課 26 公繰 37 繰出備 合計 合 193.0 B 0.0	田 田 田 田標値 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	積値 平価 4.0 B ).0	N取り組み・DO実行計画事業 円〕	年度 R8年度	実施内容	1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6	964,000 6世 105,000 105,00	前年の開発を表現しています。	比  153.0%   一ス、打   人及び E   147.7%   一及び E	対内 光員   財内 光員   財内 光員   東京 器に   実に   東京 器に   実に   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東	国庫 電防火 支 機が 大 変 との 原内容 との による という	出金 0 更更	1,740,0   1,	6000 一の000 可搬ある。 令和8年	地方債プの更新整。	その他 332,000 備を計画している	一般財源 5,927,0 5ことが増額要

			会計区分の一般	<b>社会計</b> 担		肖防総務	<b>条課</b>	担当係			重点事業						報酬を適コ	Eに支出	したことで	、消防団員の	の身分を保			できるように、新入	、団員の口座情
R				報酬事業		11193110-32	A HAIN	2_418								肖防団員数						報を早期に把握す	する必要があ	る。	
					して暮らせるま	-+										7.4.1 252名 3.4.1 272名	名 名(途中入[	田の夕今	・キボ)						
	-					· · ·									R5	5.4.1 262 <b>수</b>	区(途中入								
			政策 3 消防	力を高めるま	ちづくり 									ļ		l.4.1 283 <i>4</i> l.4.1 304 <i>4</i>					士				
			施策 3 消防	i団の防災力の	)維持・向上を図	図ります							事	·   事  - 	<del>,</del>	7.4.1 0044	-				事業				
			消防団の防災力の							報酬及び出重	]件数に応じた	舌動報	業		或						課題				
			業により、報酬の支 団員の身分を保障で		フ帷夫に打つこ	とで、泪	לעון	酬を全団員へ	入払り。					7	₹						起				
総	体系・概要																								
合計	示 •												C H												
画	概	事 業					事業						Е												
		の					の						C												
		目的					概						評						各評価	i結果				総合判定評	価
													価	<u>.</u>  -	事業:	コスト評価	<u> </u>	指標	 『評価		事業内容				
													価公		Τ,	般財源		1		=	評価視点	評価内容	B 事	業の進め方の改	善の検討
													分析	` 	Ŷ *		成果	<u>'</u>	В		_				
									-					育	前 103.		D	2		効率性		A 現状維持		R8年度の方向	
		予	款項目	事業番号	W R L C R +0.3	ru #		事	業名称				総合判定評価	\$   年   日	+ - T	業コスト	効率	1	В	有効性		計画の進捗と成り 一に近い状態⇔「計			战果 維持→
		算	9 1 2	100000 R6年度	消防団員報酬	酬費 前年比	k 81	yr   国康支出	金県支出金	₩ <i>七佳 2</i>	の他 一般	計道	判	<u> </u>	104.			壬重財報	州の由語フ・	・ 必要性 ★一人を作り	│ 4:高い 或し、適切に支出	<u>画通り」</u> Hできた。	改善	①事業	の進め方
		闬	1 1 1 1	27,072,000	2,395,000		比 財: 09.7% 内:			地力頂 て		972,000	定	. 担		077 —	2,0,110(,	LI 29) TK CI			%U( ) 91( ) 1	1 (2/2)			
			24,077,000	27,072,000	2,000,000	10	33.770		0 0	0	0 27,	372,000	一		ョ 评										
			項目	R4年度	R5年度	R	6年度		Ę	¥費内訳				佰	西										
			予算額	16,836,00	0 24,677,00	00 2	27,072,000	節	決算	額	節	央算額	Α									成果及び今後の方			
			決算額	16,566,00			23,850,700		23,850		財産購入費	0	C T	, <b> </b> •;i	消防団員	及び事務	局相互の負	負担を軽	減するため	、報告等を	電子申請できる	らように検討していく			
			不用額	270,00			3,221,300			0 17 備		0	える	-											
			執行率	98.4	93.2	2%		03 職員手	当等		金、補助及び交付金	0	- IONか	2											
	事		国庫支出金		0	0		04 共済費 05 災害補何	<b>営</b>	0 19 扶 0 20 貸		0	N 改 化	;											
	業「	決	Ⅰ 財 —————		0	0		06 恩給及び			、補填及び賠償金		善善												
	コス	第一	内その他		0	0		07 報償費			金、利子及び割引料	0			款	項	目		事業番号				事業名称		
		円)	一般財源	16,566,00	0 23,005,60	00 2	23,850,700	08 旅費		0 23 投	資及び出資金	0			9	1	2		100000	消队	方団員報酬費				
	分析		前年比較	93.4% B				09 交際費		0 24 積		0			予	算額	前年增源	或額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人件費	466,00						0 25 寄		0				6,193,000		'9,000	96.8	3% 内訳	(	0 0		0 0	26,193,000
			総事業コスト	17,032,00				11 役務費		0 26 公		0					への年間					下     期			
			前年比較	94.2% B	138.2%	) 104.	l.2% D	12 委託料	<b>《</b> 香供料	0 27 繰	五並 備費	0		R	27							実施			
			主 財					14 工事請		0 1	用貝			白月	年   実							内			
			源					15 原材料		0 合計	23,	850,700		13	内							容			
			総事業コストは前年	に比べ増額と	なった。	7 - 47 - 5		41-19471	4-7						容							更			
		コス	主に、基本団員増に	よる消防団貝	年間報酬の増	及び活動	切発性の	背に伴うもので	ある。				Р									見     込			
		ト分											L									み			
		析											A N			画額	前年增減		前年比	財源 3% 内訳	国庫支出金		地方債	その他	一般財源
СН				事業指標	■■証価			R4年度	F	R5年度	R6年J	ŧ	N 行 取 計	-		7,141,000 • 消防団員	94 への年間	8,000	103.6 支払い	אמנים (%)		0 0 基本団	員数減により	0 <sub> </sub> J減額を見込んでU	0 27,141,000 いる。
Е						見状値	目標値	目標値 身		植 実績値		z 実績値	りし	ī l			への活動					年			• •
C			指	標名		年度	年度		評価 達成			評価	組事業									度比			
評価		指揮	成果	の支払い回数		40.0	0.0		1.0 1.0		1.0	1.0										較			
価		標 評	1	の又払い凹剱	Щ	1	7	100.0%	B 100		100.0%	В	D 円									増     減			
		価	成果			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実		実							要			
	指標		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			0	0	1.0	10 1	) 1.0	1.0	1.0	施	R	実 施 内							因	年度と同類型	度を見込んでいる	<u> </u>
	•		効率 報酬支払	い事務		2.0	0.0 7	1.0	1.0 1.0 B 100		1.0	1.0 B		白月	年 容							R9 年	一一又 C IPJ 行列	以上の一方で1000000	<b>v</b> 0
	実施		·消防団員へ年間報	酬及び活動報	 闘を支出した。		*	. 55.570	_ 100			-		13	又							度			
	内																					増			
	容	事																				見			
		業実																				込み			
		実施中																	<b>重業</b> σ	日的と実施	内容との思油を	 生「有効性と妥当性	の説明		
		内容													消防	団員の身分	かを保障す	るために		可欠な事業		エールルに女コは	コマノロルヴワ		
			<u>-</u>																						
														_											

対象	年度	事美	業会計区分 一般	会計 担当	課消	防総務課	担当係			重点事業					ヒ検討委員 竟改善・負打			月、3月)開作 すした。	催し、消防	①消防団員でいる。	を確保するため、? 5る。	舌動しやすい環境	整備を進めて
R	₹6		事業名 非常備消	防総務事業									②女	性消防団流	舌性化栃木 動環境整備	大会(9)	月)へ参加	し、消防団	員の活動				
		1	基本目標 4 快適	な環境で安心して	て暮らせるまち								1307		AJ-XK-JUIE MI	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. ] . 0,20						
			政策 3 消防	力を高めるまちつ	づくり																		
			施策 3 消防	団の防災力の維	持・向上を図り	Jます					_ 	<u>.</u>   :	事業						事業				
			消防団の防災力の				消防団役員の視察	研修及び女	性消防団員	の研修への参加	- 第	集 .	成						課				
			事業により、各種研団の活動環境整備		や検討会を通し	じて、消防	等により、消防団員 防団の活動環境整	の活動能力 備について	]向上に取り 検討する。	組むとともに、消		;	果						題				
総	体 系 ·										С												
合計		事				車					Н												
画	概要	業				業					E												
		の目的				の   概   要					K   1	+					各評価	<b>純里</b>				総合判定評値	<del></del>
		μλ				安					価	<sub>平</sub>  -	 事業	コスト評値	<u> </u>	 指標			 事業内容	 ?評価	=1		
											旧分	· ·		-般財源		1	В	1		評価内	A V	画どおりに事業を 当	進めることか
											力材		算	0.8% A	成果	2			1	A 現状維		R8年度の方向	
			款項目	事業番号			事業名称				糸		HII	事業コスト	B		В	有効性		計画の進捗。	と成果 コスト		注 維持→
		予算			非常備消防総	 務費	728 117				新名字 · 公司 · 公	수 	H	3.4% D	率			必要性		ーに近い状態く 画通り」	⇔「計 改善 改善		の進め方
		角	R5年度 F				カラス 国庫支出金 県支	出金 地方	う債 その他	也 一般財源		E :	担②女	間を通した	:消防団員都	動誘活動	を実施した	ことで、途口がほ	中入団者が2名 員の活動能力向	確保できた。	竟整備について学で	、 重かる消防団	員の活動能力
			139,000	114,000	△ 25,000	82.0%	0 現	0	0	0 114,00	計	平   .	担 ②女 向上	に取り組ん	でいく。	·/( ( )	/1/ · 9/JH		F 07/11 30 1675 17	工 (* 70 到 % 5	先正開てフロ・とう		A 07/11 3/11C/1
			項目	R4年度	 R5年度	R6年度		事業費			1 "	_   ·	価										
			予算額	81,000	139,000		節	決算額	節	決算額	Α	T							案と想定される原				
			決算額	66,000	123,120		01 報酬		16 公有財産		C h	旧一個	①消防団 保に繋げ	活性化検言	付委員会委	員と現役	(消防団員)	の意見交換	やの機会を設け、	更なる団員の	)メリット・魅力を増	やすための検討を	行い、団員確
			不用額 執行率	15,000 81.5%	15,880 88.6%		02 給料 03 職員手当等		17 備品購		l ! l ā	₹	- 21C · 7	10									
			国庫支出金	0	0		03 職員子当寺 04 共済費	_	19 扶助費		J N 国	が変し											
	事業	油	財場支出金	0	0	C	05 災害補償費	0	20 貸付金		改善	匕											
	⊐	算	地方債	0	0		06 恩給及び退職年金		21 補償、補填		善	4	+1-				<b>+</b> ** <b>= =</b>				- Alle - T-		
	スト	闬	源 地方債 内 その他 一般財源	66,000	123,120		07 報償費 08 旅費	, i	22 償還金、利子			ŀ	<u>款</u> 9	項 1	2		事業番号 600000	非常	常備消防総務費		事業名称		
	分析	)	前年比較	·	186.5% D	89.8% A	09 交際費		24 積立金			F	<u> </u>	 予算額	前年增減	或額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1/1		職員人件費	707,000	1,419,000				25 寄附金		D .			211,000		7,000	185.1		C		0	0 0	211,000
			総事業コスト	773,000	1,542,120		11 役務費		26 公課費 27 繰出金					・消防団沿 ・女性消防	性化検討 団活性化:	委員会 <i>σ.</i> 大会へ <i>σ</i>	)開催 )参加			下     期			
			前年比較	536.2% D	199.5% D	103.4% D	12 委託料 13 使用料及び賃借料		27 裸山並 予備費			F	R7							実施			
			主				14 工事請負費	0	7 111170				$\leftarrow$							内容			
			源				15 原材料費	0	合計	110,54			年 実							25			
				1-11 SIMATI 4-			10 1849 44 5		ни	,			度 施							変			
		$\neg$	主に職員人件費の地	に比べ増額となっ 曽に伴うものである			10 1/11/19		ни				度 施							変更見			
		コスト	主に職員人件費の地				TO MATERIAL		ни		P		度 施							変見見込			
		スト分	主に職員人件費の増				TO MATERIAL		D #1		P L A 写	į į	度 施内容	計画額	前年増減	或額	前年比	財源	国庫支出金	変更見	地方債	その他	一般財源
CI		スト	主に職員人件費の増	曽に伴うものである	<b>3</b> .			554			P L A N	· 美	度 施内容	235,000	2	24,000	111.4		国庫支出金	変更見込み出金	0	0 0	235,000
H E		スト分	主に職員人件費の地	曽に伴うものである 事業指標・፤	で (平価)	大値 │ 目標値	R4年度	R5 <sup>2</sup>	<b>手度</b>	R6年度	PLAN取り	美元 计画	度 施内容	235,000		24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 県支 R7年	地方債 0 性消防団活性化に (崎) であることが均	0 0 大会の開催予定地	235,000
Н		スト分	主に職員人件費の地	曽に伴うものである	る。 評価	犬値 目標値 :度 年度		R5年 目標値 達成率	丰度 実績値		P L A N I 河	<b>美</b> 一	度 施内容	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 出	0 性消防団活性化:	0 0 大会の開催予定地	235,000
HECK評		スト分析指	主に職員人件費の対象を表現しています。	曽に伴うものである 事業指標・፤	評価 単 現物 位 年	度 年度 .0 2.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0	目標値 達成率 3.0	手度 実績値 評価 i	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0	PLAN取り組み・	美	度 施内容	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化:	0 0 大会の開催予定地	235,000
HECK		スト分析指標評	主に職員人件費の± 指4 成果 消防団活 1 催回数	曽に伴うものである 事業指標・言	平価 単 現物 位 年 別 回 O.	度 年度 .0 2.0 1 7	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B	目標値 達成率 3.0 100.0%	手度 実績値 ! 評価 i 3.0 B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B	PLAN取り組み・D 写名言画写第一字	美	度 施内容 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 古	0 性消防団活性化:	0 0 大会の開催予定地	235,000
HECK評	指	スト分析指標	主に職員人件費の± 指4 成果 消防団活 1 催回数	曽に伴うものである 事業指標・言	平価 単 現物 位 年 開 回 0.	度 年度 .0 2.0 1 7	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0	目標値 達成率 3.0	手度 実績値 評価 i	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0	PLAN取り組み・D 写名言画写第一字	実行計画事業 可 )	度 施内容	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化:	0 0 大会の開催予定地	235,000
HECK評	指標・	スト分析指標評	主に職員人件費の計 指標 成果 消防団活 化 単 の数 成果 2	曽に伴うものである 事業指標・言	平価 単 現物 位 年 開 回 0.	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化:	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実	スト分析指標評	主に職員人件費の 指 成果 消防団活 1 (権回数 成果 2 効率 1 会議時間	曽に伴うものである 事業指標・言 票名 性化検討委員会「	平価 単 現物 位 年 明 回 0. () () ()	度 年度 .0 2.0 1 7 .0 0.0 0 0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度 施内容	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 古	0 性消防団活性化 崎)であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実	スト分析指標評	主に職員人件費の計 指標 成果 消防団活 化 単 の数 成果 2	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化 崎)であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評		スト分析 指標評価 事	主に職員人件費の計 指揮 成果 消防団活 化 (重要な) 消防団活 が (重要な) 対象 (主要な) 対象 (主要な) 対象 (主要な) は、対象 (	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化 崎)であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実施内	スト分析 指標評価 事業	主に職員人件費の計 が果 消防団活 が展 2 対 会議時間 (2)女性消防団活性を検え	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 )開催			変更見込み 支	0 性消防団活性化 崎)であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実施内	スト分析 指標評価 事業実施	主に職員人件費のが 指揮 成果 消防団数 成果 2 効 会議時間 1消防団活性化検達のでは、1 2女性消防団活性を持続している。	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度	235,000	2 性化検討	24,000 委員会 <i>の</i>	111.4 開催 参加	水 内訳		変更見込み 支	0 性消防団活性化は (性消防団活性化は (崎)であることが増 であることが増 であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実施内	スト分析 指標評価 事業	主に職員人件費の 指 成果 消防団数 成果 2 効率 会議時間 1消防団活性化活性の ②女性消防団活性の	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度   8年度     施内容   実施内容	235,000	2	24,000 委員会の 大会への	111.4 開催 参加 事業の	水 内訳	で 内容との関連性	変更見込み 支	0 性消防団活性化は (性消防団活性化は (崎)であることが増 であることが増 であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7
HECK評	実施内	スト分析       指標評価       事業実施内	主に職員人件費の 指 成果 消防団数 成果 2 効率 会議時間 1消防団活性化活性の ②女性消防団活性の	事業指標・記 事業指標・記 票名 性化検討委員会に 対委員会を開催し	評価 単 現物 位 年 明 回 0. () () () ()	E度 年度 0 2.0 1 7 0 0.0 0 0 0 1.0	R4年度       目標値     実績値       達成率     評価       3.0     3.0       100.0%     B       0.0     0.0       1.0     1.0	目標値 達成率 3.0 100.0% 0.0	字度 実績値   評価 ii 3.0 B 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 3.0 3.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	実行計画事業 一月 一日 「日本」	度 8年度 <b>8</b> 年度 <b>8</b> 年度	235,000	2	24,000 委員会の 大会への	111.4 開催 参加 事業の	明 内訳 目的と実施	で 内容との関連性	変更見込み 支	0 性消防団活性化は (性消防団活性化は (崎)であることが増 であることが増 であることが増	0 0 大会の開催予定地 曾額要因である。	235,000 也が北海道 (R7

			マップ ト (会計区分 一般	会計 担	旦当課	消防総	診務課	担当係				重点事業					防団蔵置所 切に維持管:								当防団蔵置所の 必要がある。	D計画的修繕や	や長寿命化に
R	86	=	事業名 消防施設	等管理事業												②小	·笠北分団嶺  件解体工事	田蔵置列	行の設計	及び建築う	定地の地	2質調査、市					
		基	本目標 4 快適	な環境で安心	して暮らせる	るまち										の準	備を進める										
			政策 3 消防	力を高めるま	ちづくり											<i>T</i> = .											
			施策 3 消防	 団の防災力 <i>0</i>	)維持·向上	を図ります								<b>a</b>	- I	事						事					
			消防団の防災力の								け維持管理	里を行うとと	た、整	事業	1							業					
			事業により、災害時 維持管理を行う。	活動拠点となる	る消防団蔵記	置所の適り	切な	備方針に	ついて検討	けする。					5	果						題					
総	体		ME10 E 22 C 11 7 o																								
合計	体系·													С													
画	概要	事 業					事							E													
	安	の					の							C													
		目的					概 要							評						各評価	<b>Б結果</b>					総合判定評価	ш
														曲		事業	コスト評価		指	 票評価		事業内容					
														価 分		± -	-般財源	成	1	В		評価視点	評価	 i内容	B 事業(	の進め方の改善	善の検討
														分析・	_		8.1% D	果			効率性	生 4:高い	A 現場	 :維持		R8年度の方向	 ]性
			款「項」目	事業番号					事業名称						. I B	判 年 総 総 第	事業コスト	D		D	有効性		計画の進	捗と成果	コスト		注果 維持→
		予 算	9 1 2	300000	消防施設	等管理費	ŧ							総合判定評	`	333	2.2% D	率			必要怕	生 4:高い	─に近い状 画通り」	態⇔□計	改善	①事業の	の進め方
		用	R5年度 F	86年度	前年増減	前年			支出金 県支				財源	定	!	担り消	防団蔵置所  画通り小笠-	を適切に	維持管田蔵置	理できた。 所の建て麸	ラを進め	ることができた。					
			3,966,000	11,131,000	7,165,000	:	280.7% 内	]訳	0	0 6,600	0,000	0 4,	531,000	評価			回便50.00	167」[2] 政	山成巨	別の姓で日	んと延び	0CC3.CC12.					
			項目	R4年度	R5年	<b>使</b>	R6年度			事業 4	貴内訳			,,,,,	·   宿	西											
			予算額	3,781,00			11,131,000	) î	 節	決算額	負	Ť	決算額	Α						課題に	対する改割	<b>善案と想定される</b>	成果及び今	後の方向に	 生		
			決算額	3,540,01	3,36	1,151	10,901,911	01 報酬	1	0	16 公有月	才産購入費	0	C T 加		消防団	蔵置所の計	画的な修	繕を実 小笠車	施するととも	に、長寿は	命化計画書を作り 潜えを計画に沿っ	する。 って誰めて!	·/			
			不用額	240,98		4,849		02 給料			17 備品		0	え		小立北	刀凹領田殿	旦別及ひ	小立果	刀凹川工阀	値別の建	首んで計画に近	うて進めて	, ```			
			執行率	93.6		84.7%		03 職員		_	18 負担金、		10,400	I O N	5												
	事		国庫支出金	330,00	0	0	0	04 共済 05 災害			19 扶助 20 貸付		0	N 改	;												
	業コ		<b>Ⅰ</b> 財		0	0	6,600,000	06 恩給及			21 補償、補		152,900	<b>→</b>													
	ス	算用	内の他	7,53	30	2,510	0	07 報償	費	0	22 償還金、	利子及び割引料	0			款	項	目		事業番号				事	業名称		
	ト分		一般財源	3,202,48		8,641		08 旅費			23 投資		0			9	1	2		300000		が施設等管理費   日本古世			1dL-/=	7.011	AD D LYT
	分析		前年比較 職員人件費	149.8% D		D 12 3,000	28.1% D 807,000				24 積立 25 寄附		0				予算額 62,309,000	前年増2	<b>成額</b> 78,000	前年比 559.8	財源 8% 内訳			3金 7,000	地方債 55,900,000	その他 1,408,000	一般財源 4,714,000
			総事業コスト	3,678,01			11,708,911				26 公課		0				-消防団蔵記	置所の維	持、管理	里(浄化槽点	i検等)		下	7,000	00,000,000	1,100,000	1,711,000
			前年比較	158.7%	95.8%	В 33	32.2% D	12 委託	;料	4,796,665	27 繰出	金	0				·消防団蔵記 ·消防団蔵記				<b>水費、通信</b>	<b>(費等</b> )	期実				
			主 緊急·防災減災	事業債			6,600,000	13 使用料			予備	費	0			R7   年   実	·消防団蔵記 ·消防団蔵記	置所の設	計業務	委託	ひょくほと 1田 ギ	≠数禾虻	施				
			財源					14 工事		3,325,300	<b>∧</b> =L	10	001.011		B		・機能別消	en 建省 方団車庫	移設	)建業工事/	又ひ監理を	<b>卡伤安</b> 甙	内容				
			総事業コストは前年	に比べ増額と	なった。			15 原材	料質	0	合計	10,	901,911			容							変更				
			主に、小笠北分団嶺体作業による工事請	田蔵置所の第	実施設計・地		よる委託料	の増及びへ	小笠北分団	嶺田蔵置	所建築予定	ᢄ地の市有物	件解										見込				
		۲	体によっても	見員の相に	+ 7 0 0 7 C 0 5	<b>o</b>								P L									み				
		分 析												A 実 N 行			計画額 64,082,000	前年增殖	成額 73,000	前年比 102.8	財源 <sub>3%</sub> 内訳		県支出	金	地方債 38,600,000	その他	一般財源
C				事業指標	票∙評価			R4:	年度	R5:	年度	R6年	变	取計	-		•消防団蔵置	置所の維	持、管理	里(浄化槽点	i検等)		R7	旧小笠北		所の解体が計	25,482,000     動されている
E C			+5+	票名	単	現状値	目標値		実績値	目標値			実績値	り画			·消防団蔵記 ·消防団蔵記				水費、通信	費等)	年	ことが増額	領要因である。		
K		11m		示 <b>口</b> 	位	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	み業			·消防団蔵置 ・消防団蔵置	置所の設	計業務	委託	ひょくほと 1田 ギ	≠数禾式	度比				
評価		指 標	成果 消防団蔵	置所等の維持	音管理 箇 所	16.0	0.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	D 用			- 7日101 四187	旦川连首	人に計	ノ生改工争が	又い血圧を	<b>卡伤安</b> 乱	較増				
ш		評価	成果		///	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0% 0.0	0.0	0.0	B 0.0	0		<b>#</b>							減要				
	指標		2			0	0							施	_	実施							因				
	標 •		効率 蔵置所14 1 設等管理	ァ所当たりの消 事業費	消防施 千 円	124.0	0.0	143.0	154.0	143.0	198.0	-	637.0		左	88 内年 容							R9	令和8年	要と同額程度。	となる見込みで	<b>きある</b> 。
	実		①消防団蔵置所を総	推持管理(光熱	外費の支出	<u>'</u> ¦、浄化槽	/ inの点検委託	107.7% £、火災保障	│ B 食等の契約	138.5% ]及び修繕)	S )した。	53.5%	D		B	芟							年				
	施内		②小笠北分団嶺田河	歳置所の建替	えに向けて、	設計、地	質調査、建	築予定地(	こ残存して	いた市有物	7件解体工	事を実施した	-0										増減				
	容	事																					見				
		業実																					込み				
		施																		事業の	)目的と実	施内容との関連性	 生「有効性と		)説明		
		内																									
		内 容														消防	団の活動拠	点である	ことかり	5、今後も適	切な管理	が必要である。					
																消防	団の活動拠	点である	ことから	ら、今後も適	切な管理だ	が必要である。					

	年度	事美	業会計区分 一般	经会計 担当	i課   消除	防総務課	担当係		<u> </u>	重点事業				防団車両を ∶制を確保し	適切に維持 <i>t-</i>	持管理し	、災害に迅	速、確実な	対応かでき	・今後も消える必要が		を適切な状	態に保ち、常に	災害出動に備
R	₹6		事業名 消防自動	車等管理事業									- O 144	がいてお用いて	//_0					人·切免·安/	(13 · W) · W ·			
		基	基本目標 4 快適	が な環境で安心し <sup>・</sup>	て暮らせるまち																			
			政策 3 消防	力を高めるまちつ	 づくり																			
				団の防災力の維		 l≢ਰ							事						事					
			消防団の防災力の				車両の維持管理とと	ともに、整備	方針を検討す	<b>る。</b>	- 1		業成						業					
			理事業により、消防						,,,,,,			`   :	果						題	İ				
総	体																							
合計	系・										С													
計画	体系・概要	事業				事業					E													
	要	業の				の					C													
		目的				概要					評						各評価	結果					総合判定評価	<u> </u>
											価しま	评	事業	コスト評値	<b>T</b>	指標	評価		事業内?	容評価		A計画と	ごおりに事業を:	進めることが
											3		<b>決</b>	般財源	成	1	В		評価視点	評価	西内容	適当		
													算前 64	1.1% A	果 A			効率性	4:高い	A 現状	犬維持		R8年度の方向	性
		予	款項目	事業番号			事業名称	ί.			<b>一</b>	総 :	年 総	事業コスト	効	j 1	S	有効性	4:高い	計画の進一に近い状	態の「計	コスト	維持→ 成	果 維持→
		算			消防自動車等的						- H	ョ   . 判		8.5% A	率		7.0 m = <i>t</i>	必要性		画通り」		改善	①事業の	)進め方
		闬					オ源 国庫支出金 県支 内訳 0	出金 地方	方債 その他		2	総合判定平面	担	思的な災害	出動に備え	え、 消防	<b>ゴ公用</b> 単を	吊時力至7	な状態に管理で	<i>₹1</i> こ。				
		٦	5,134,000	3,482,000 △	1,652,000	67.8% P	36/4	U	U	3,482,000			担 当 評											
			項目	R4年度	R5年度	R6年度		事業費	貴内訳			_   1	価											
			予算額	3,089,000	5,134,000			決算額	節	決算額	Α			A 1811	· - * - 1	10.1.0.11			案と想定される	成果及び今	後の方向性			
			決算額 不用額	2,646,664 442,336	4,868,451 265,549		3 01 報酬 7 02 給料	0	16 公有財産 17 備品購 <i>刀</i>			][]	法定点标	食だけでな <sup>。</sup>	、日常点和	使も含め	た週切な箱	持官埋を	散低する。					
			執行率	85.7%	94.8%		/ 02		18 負担金、補助及		i	えしるし												
	_		国庫支出金	0	0		0 04 共済費	0	19 扶助費			える変と												
	事業	決	財 県支出金	0	0	(	0 05 災害補償費		20 貸付金		改 l 1													
	⊐	算	加方債   地方債   イン	0	0		0 06 恩給及び退職年金 0 07 報償費		21 補償、補填及			_	±la	75			<b>車業妥</b> 口				事業名	7 FF		
	スト	闬	訳ー般財源	2,646,664	4,868,451		3 08 旅費		22 償還金、利子及 23 投資及び			H	<u>款</u> 9	項 1	2		事業番号 500000	消	防自動車等管理		争未在	5 个小		
	分析	)	前年比較	94.6% B	183.9% D	64.1% A	09 交際費		24 積立金	(		F		予算額	前年増減	減額	前年比	財源	国庫支出金		出金 地	方債	その他	一般財源
	171		職員人件費	131,000	90,000				25 寄附金		D			3,684,000		02,000	105.8			0	0	0	0	3,684,000
			総事業コスト前年比較	2,777,664 81.4% A	4,958,451 178.5% D	3,148,493 63.5% A	3 11 役務費 12 委託料		26 公課費 27 繰出金	412,600				・消防団なの支出)	常用単の維	[持官理(	法定点検1	0台、单模等	9台、修繕、保険	は料等   下   期				
				01.4% A	176.5% D	03.5% A	12 安託 <sup>4</sup> 13 使用料及び賃借料		予備費			F	R7							実				
							14 丁亩註名弗	0					```											
			主				14 工事請負費					- 1 :	年 実 度 施							施内				
			源				15 原材料費	0	合計	3,121,49	3	- 1 :	年 実 施 内							施内容変				
			総事業コストは前年 主に、車両修繕減に	に比べ減額となっ よる需用費の減	oた。 及び委託料(消	当防団ポンプ自		と	<u> </u>		3	- 1 :	年 実 度 施							施内容変更見				
		コスト	総事業コストは前年 主に、車両修繕減に	に比べ減額となっ こよる需用費の減	oた。 及び委託料(消		15 原材料費	0 後間移動した	<u> </u>		P	- 1 :	年 実 施 内							施内容変更見込				
		スト分	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に	に比べ減額となっ こよる需用費の減	った。 及び委託料(消	片防団ポンプ自	15 原材料費	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<u> </u>		P L A	実	年	計画額	前年增減	減額	前年比	財源	国庫支出金	施内容変更見込み		方債	その他	一般財源
0:		スト	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に	こよる需用費の減	及び委託料(消	片防団ポンプ自	15 原材料費 動車管理委託)を事業		たことに伴うもの	のである。	P L A N A	実行	年	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み支	出金 地	0	0	3,628,000
СНЕ		スト分	総事業コストは前年主に、車両修繕減に	こよる需用費の減 事業指標・	及び委託料(注		15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度	R5:	たことに伴うもの	のである。 R6年度	PLAN取り	実行計画	年	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳	国庫支出金	施内容変更見込み 支 の 食料等	出金 地: 0 計画修繕(夕	0 イヤ交換・	その他 0 可搬ポンプ積 が増額要因であ	3,628,000 は装置移設)の
Н		スト分	総事業コストは前年主に、車両修繕減に	こよる需用費の減	及び委託料(消)	犬値 目標値	15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度		たことに伴うもの 年度 実績値 目	のである。	P L A N取	実行計画事	年	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 支 の 食料等	出金 地: 0 計画修繕(夕	0 イヤ交換・	0 の 可搬ポンプ積重	3,628,000 は装置移設)の
HECK		スト分析指	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に 指2	ま業指標・標名	及び委託料(注 評価 単 現料 位 年	犬値 目標値	15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度 目標値 実績値	R5: 目標値	たことに伴うもの 年度 実績値 目 評価 達	のである。 R6年度 標値 実績値	PLAN取り組み・	美元 计 五 事 集	年	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 支 県 の 料等 R7年	出金 地: 0 計画修繕(夕	0 イヤ交換・	0 の 可搬ポンプ積重	3,628,000 は装置移設)の
H E		スト分析 指標評	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に 指が 成果 法定点検	こよる需用費の減 事業指標・	アグラ (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	大値 目標値 度 年度 3.0 0.0 1 7	15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 19.0 19.0 100.0% B	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0%	をことに伴うもの 年度 実績値 目 評価 達 19.0 1	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B	PLAN取り組み・D 写名語正写等 fi	実行計画事	年度 実施内容 一	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 支 7年度比較増減	出金 地: 0 計画修繕(夕	0 イヤ交換・	0 の 可搬ポンプ積重	3,628,000 は装置移設)の
HECK	指	スト分析指標	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に	ま業指標・標名	アイス (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	大値 目標値 度 年度 3.0 0.0 1 7	15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 19.0 19.0	R5: 目標値 達成率 19.0	をことに伴うもの 年度 実績値 目 評価 達 19.0 1	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 円	年度 実施内容 一	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 支	出金 地: 0 計画修繕(夕	0 イヤ交換・	0 の 可搬ポンプ積重	3,628,000 は装置移設)の
HECK	指標:	スト分析 指標評	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に	ま業指標・標名	アグラボギ(注 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0	15 原材料費 動車管理委託)を事業 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 19.0 19.0 100.0% B	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0%	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B	PLAN取り組み・D SI名語回答 弁	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み	出金 地: 0 計画修繕(タ増を予定して	0 イヤ交換・ こいることが	0 の 可搬ポンプ積重	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実	スト分析 指標評	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に 指 成果 法定点検 成果 2 効率 1 燃料費	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (473.0 73	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度 実施内容 一	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 世界 おおおお おおお おおお おおお おおお おお おお おお お	は金 地 0 計画修繕(タ 増を予定して	0 イヤ交換・ こいることが	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実施	スト分析 指標評	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		施内容変更見込み 世界	は金 地 0 計画修繕(タ 増を予定して	0 イヤ交換・ こいることが	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実	スト分析 指標評	源 業コストは前年 主に、車両修繕減に 指 成果 1 法定点 成果 2 効	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		T	は金 地 0 計画修繕(タ 増を予定して	0 イヤ交換・ こいることが	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実施内	スト分析	源 総事業コストは前年主に、車両修繕減に 指	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (473.0 7)	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	% 内訳		Table   Ta	は金 地 0 計画修繕(タ 増を予定して	0 イヤ交換・ こいることが	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実施内	スト分析       指標評価       事業実施	源 業コストは前年主に、車両修繕減に 指規	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (473.0 7)	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度	3,628,000	Δ!	56,000	98.5	9台、車検	10台、修繕、保	施内容変更見込み 世 将 等 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	日金 地 の 計画修繕(タ 増を予定して	0 イヤ交換・ いることが 減を予定し	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実施内	スト分析	源 業コストは前年主に、車両修繕減に 集 1	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (473.0 7)	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度 8年度 <b>8</b> 年度 <b>8</b> 施内容 <b>1</b>	3,628,000 ①消防団 の支出)	公用車の斜	56,000	98.5 (法定点検 事業の	   内訳   9台、車検     車検と実施		Table   Ta	は金 地 の 対 の 対 の が の が かる。	0 イヤ交換・ いることが 減を予定し	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。
HECK	実施内	スト分析       指標評価       事業実施内	源 業コストは前年主に、車両修繕減に 集 1	事業指標・標名の実施回台数	評価 単 現 年 台 18 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	大値 目標値 :度 年度 3.0 0.0 1 7 .0 0.0 0 0 7.0 0.0	Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原材料費   Ta 原本	R5: 目標値 達成率 19.0 100.0% 0.0	年度 実績値 目 評価 達 19.0 1 B 10 0.0 (473.0 7)	R6年度 標値 実績値 成率 評価 9.0 19.0 00.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	美宁汁 国事業 可 ) Find a second of the second of	年度 8年度 <b>8</b> 年度 <b>8</b> 施内容 <b>1</b>	3,628,000 ①消防団 の支出)	公用車の斜	56,000	98.5 (法定点検 事業の	   内訳   9台、車検     車検と実施	10台、修繕、保	Table   Ta	は金 地 の 対 の 対 の が の が かる。	0 イヤ交換・ いることが 減を予定し	0 可搬ポンプ積電 増額要因であ	3,628,000 成装置移設)の る。

		ン		<b>∧=</b> 1 #	旦当課 消	<b>Γ+</b> 4Λ\ <b>7</b> ⁄2 =Π	+D 1/17			丢上古米			· 毎	月の職員手	当を適正に	支出した			・効率的に適正か	つ確実な処理	<b>罪を行う必要がある</b>	<u> </u>
		業会計				防総務課	担当係			重点事業	_											
R		事業:	名 職員給与	費(消防本部	・常備消防費)【消	前防本部】					_											
		基本目	1標 79 特別	職∙職員給与	の適正な管理執行	行を図る																
		政策	6 1 特別	職∙職員給与	の適正な管理執	行																
		施策	<b>2 職員</b>	————— 給与費								事	事					事				
	-				执行を図るため、耶	<b>職員給与</b>	勤務における給与や	5手当を集	計し、振り	込みによる給与支	給	業	業成					業				
		費(	消防本部 常備>	前防費)【消防	本部】により、職員		を行う。						果					題				
4//>	体	于当	当の支払いを適り	ルー行う。																		
総合	体系・概要										С											
合計	• 概	事				事					H											
画	要	業 の				業の					C											
		目				概					K						6 = T (m (+ 17)				60 A July	_
		的				要					一一一	=ar					各評価結果				総合判定評価	<b>h</b>
												評価	事	ミコスト評(	<b></b>	指標	評価	事業内容	字評価 	B 事	業の進め方の改善	生の給討
												ハ	決   .	一般財源	成	1	В	評価視点	評価内容		来 <b>0</b> 7.22.077] 07.07.67.5	3 07 18 01
												析・	決     算     前   1	0.2% D	D 果	2	効率	性 4:高い	A 現状維持		R8年度の方向	 l性
		_ 款	項目	事業番号			事業名称						年 総	 事業コスト	効	1	B 有効	性 4:高い	計画の進捗と成果	コスト	縮小↓ 成	果 維持→
		予 9		900000	職員給与費(消		肖防費)【消防本部】					合业	1 Hz -	05.8% D	率		必要		—に近い状態⇔「計 画通り」	改善	①事業の	
			R5年度 F	6年度	前年増減		打源 国庫支出金 県支	出金 地	方債 その	)他 一般財源		定	1 1 7 1	員給与の計	算は、短時	間での	<b>適正な処理が求め</b>	られているため、常	に職員二人による	ダブルチェック	を行い不備なく処	ኴ理することが
			27,413,000	8,328,000	915,000	103.3%	7訳 0 5	3,000	0 4,210	24,065,0	00	総合判定評価	担できる	きた。								
	_											100	評     価									
			項目	R4年度	R5年度	R6年度			費内訳 	<b>生</b>	·						無時に対するか	美安し担中されて	世界では今後の士台	5 h4		
				26,802,00			) O1 報酬	決算額	16 公有!		月 0 C		•1ヶ月ヶ	の手当の記	+算処理を複	数回に			成果及び今後の方向 果的な事務処理とす			
				319,78			0 02 給料		17 備品		0 T	加		, ,	171721217				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
			執行率	98.8					18 負担金、		I 0	んる										
	_		国庫支出金		0 0	) (	04 共済費	0	19 扶助	費	0 N	える変化										
	争 業	    決    財	県支出金	944,58	80 44,350	53,700	05 災害補償費	0	20 貸付	金	0 改											
		第   源	地方債		0 0		06 恩給及び退職年金		21 補償、补		0 善											
	スト	(算	その他	4,145,36			07 報償費		22 償還金、		0		款	項	目		事業番号	# B W L # ()##		事業名称		
		_	一般財源 前年比較	21,392,27 114.2%			08 旅費 09 交際費		23 投資2		0		9	<u>1</u> 予算額	前年増減	安石			本部·常備消防費)【 県支出金	消防本部】 地方債	その他	一般財源
	析	$\vdash$	職員人件費	553,00			10		24 慎立 25 寄附		0		$\vdash$	7 昇 积 29.667.000			前年比 財派 104.7% 内言		0 53,000	地力很	つ 4,168,000	
			総事業コスト	27,035,2		1	11 役務費		26 公課		0			・職員手当	,	,,000	104.770		下		4,100,000	20,440,000
			前年比較	104.7% С			12 委託料		27 繰出		0								期実			
		主	東名高速道路	<b>枚急支弁金</b>		2,925,960	13 使用料及び賃借料	0	予備	費	0		R7 年 実						施			
		財		可手数料			14 工事請負費	0					度 施						内容			
	_	源	火薬類消費許		d=1.4~ 4	94,700	15 原材料費	0	合計	27,568,8	00		内容						変			
			事業コストは、前年 に職員手当等の地																更見			
		ス									Р								込み			
		分									L	実	$\vdash$	計画額	前年増減	額	前年比財源	国庫支出金		地方債	その他	一般財源
С		折									N	行		28,705,000			96.8% 内言	3,	0 53,000		0 913,000	
Н				事業指	摽∙評価		R4年度	R5	年度	R6年度	取	計画			1	<u>'</u>	'	•		年度と同額程	度を見込んでいる	0.
E			指标	<b>票名</b>		状値 目標値	目標値 実績値		実績値	目標値 実績値	—— 小 <u>口</u>	事							年			
K		HE				F度 年度	達成率 評価	達成率	評価	達成率 評価	み	業							比			
評価		漂	成果 給与支給 1 執行状況	の円滑かつ適	適正な │式	0.0 0.0	1.0 1.0	1.0	1.0	1.0 1.0	_ D	闬							較     増			
Щ		評	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			0.0 0.0	100.0% B 0.0 0.0	0.0	0.0	100.0% B 0.0 0.0	9								減			
			2			0 0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	美 施		実						罗			
	指標	交	効率 支払業務		遺の 時 C	0.0	20.0 20.0	20.0	20.0	20.0 20.0			施 R8 内 年 容						R9 令和7年	年度と同額程	度を見込んでいる	) <sub>0</sub>
	・ 実 -		-	時間前年度以		1 7	100.0% B	100.0%	В	100.0% B			年日容						年			
	施	•特	殊勤務、休日勤	<b>务、夜間勤務</b>	等の職員手当をう	<b>支出した</b> 。													度			
	内 容	_																	減			
		事 業																	見			
		実施																	24			
		内																	生「有効性と妥当性」			
		容													当の適正な管 ことが大切で		テに努め、災害に備	えて消防力の強化	とを図り、市民を災害	らから守るとし	いう使命の下に、常	常に万全の体制
													-	_,,, 0	~ // 5/ 6/							

対象			会計区分	一般	设会計 担	当課	警防課	担当	<b></b>		重点事業							7回)へ参加、連絡調	①②常に徹底した	維持管理が必要である。	
R	6	事	 事業名	広域消防	 ī通信整備事業									<i>†</i>	-0			切り替えることができ			
			本目標		がな環境で安心!	て暮らせるま	<u> </u>								〕消防指令システム らける精度と迅速性			、指令や情報伝達に た。			
			政策		力を高めるまた																
			施策				レた図ります							事					事		
					5施設・設備・体 制の充実強化を			指令	業務における1	E確かつ迅速性の向	1 トを図ることを E	的	事業	業成					業課		
			整備事業	により、中	東遠消防指令-	センター指令	システムの全	として	、中東遠消防	指令センターに係る	指令システムの	直		果					題		
松公	体系		回更新を 向上する。		令や情報伝達	こおける精度	と迅速性を		を実施する。												
総合計	系•											С									
計画	概要	事業						事				E									
	安	の						<b>の</b>				C									
		目的						概				評	<u> </u>				各評価			総合判定評	価
												1曲	評	哥	業コスト評価		指標評価	事業	内容評価	計画どおりに事業	を進めることが
													価分析	決	一般財源	成	1 B	評価視点	評価内容	a 適当	
														<u> </u>	4.1% A B	果	2	効率性 4:高い	A 現状維持	R8年度の方[	 向性
		_	款 項	目	事業番号				事業名称				総	前年	総事業コスト	効	1	有効性 4:高い	計画の進捗と成果	コスト 維持→ が	成果 維持→
		予算	9 1	3	600000		信整備事業						台判	比	952.8% D	効		必要性 4:高し			(の進め方
		闬	R5年原			前年増減	前年比	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			の他 一般財		定	担当	)②機能承諾書の₽ ことができた。	内容に沿っ	った消防指令シス	ステムの機器の入替及	び運用切り替えの実施と	:併せ、システムの使用方法	を職員へ周知す
		. ]	12,033	3,000 2	11,076,000	99,043,000	1754.1%	内部	0 10,00	200,700,000	0 37	5,000	評価	制年比 担当評 (2)							
			項	i目	R4年度	R5年度	R6年	度		事業費内訳				価							
			予算		(	12,033,0			節	決算額	節 決	額A							る成果及び今後の方向		
		-	決算		(	10,036,5		5,483 01			可財産購入費	0 C	加	102	防指令システムを	適切に維	持管理すること	で情報伝達における精	度と迅速性を図っていく。		
			不月 執名	刊観  行率	(	1,996,4		517 02	給料 職員手当等	0 17 備品	品 購入 貨 金、補助及び交付金 211,0	5 483	加える変								
		ŀ		<u>, —</u> 車支出金	(	)	0		<u> </u>	0 19 扶耳		0 N	変								
	事業	決	財	支出金	(	)	0 10,00	0,000 05	災害補償費	0 20 貸1	寸金	0 改									
	$\Box$	算	源	地方債	(	900,0	200,70		恩給及び退職年金		、補填及び賠償金	0 善				_			-		
	スト	闬	<b></b>	その他 -般財源		9,136,5	552 27	0 07 5,483 08	報償費 旅费		金、利子及び割引料	0		款 9		3	事業番号 600000	広域消防通信		業名称	
	分析	]		原知 <i>脈</i> 「年比較	100.0% C		D 4.1%		灬貞 交際費	0 23 核9		0		١Ť		年増減額		財源 国庫支出		地方債 その他	一般財源
	1)T		職員人		(	798,0	000 49		需用費	0 25 寄	<b></b>	0				211,076,0			0 0		0 (
			総事業		(	10,004,0		3,483 11		0 26 公記		0							下 期		
			57 点	比較 .防災·減災	100.0% C %事業债	_		D 12	委託料 使用料及び賃借料	0 27 繰	出金 備費	0		R7					実施		
			<u> </u>		《事来员 <del></del>	:(審査会事業		·	工事請負費	0	用 具	_		年	<b>実</b>   施				内		
			源						原材料費	0 合計	211,07	5,483			内 容				容		
		П	総事業コス	ストは前年 東遠消防指	に比べ増額とな 旨令センター消収	いった。 方指令システ	ム全更新によ	る負担金の	増に伴うもので	である。									更見		
		ス	<u> </u>	(XE/11031)	11. CP 7 7/18	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						Р							込		
		分析										L	<b></b>	$\vdash$	計画額前	年増減額	前年比	財源 国庫支出	お 県支出金	地方債 その他	一般財源
С		析										N	実行		0		0	内訳	0 0		0 (
H					事業指標				R4年度	R5年度	R6年度		計画						R7		
C				指	標名	.:.		標値 目標 ・	葉値 実績値 な率 評価	目標値 実績値 達成率 評価		組価のお	画事業						年     度		
K 評		指	成果	中東遠消	防指令センター	-の指		.0 0.0		1.0 1.0		0							比     較		
価		標 評	1	令システ. 金	ム全更新に係る	負担 回 —		7		100.0% B	100.0%								増		
	41-	価	成果					.0 0.	0.0	0.0 0.0	0.0	9 実	3		美				要因因		
	指		2 					0 0.0	0.0	0.0 0.0	0.0	<u></u> 施	1	R8	施 内						
	標		//J-T-				0	0	0.0	5.0 0.0				年度	容				R9     年		
	標 •		1				・議へ参加し	t											· 度     増		
	標・実施				システム全更新		**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-0													
	標·実施内				システム全更新 担金を支出した		会議、多加し												減		
	標・実施	事					、成、、参加し	-0											見     込		
	標·実施内	事業実施					、一般・「多か」	-0											見   込   み		
	標·実施内	事業実施						~0						-			事業の	目的と実施内容との関	見     込	の説明	
	標·実施内	事						~ 0						-			事業の	目的と実施内容との関	見   込   み	の説明	
	標·実施内	事業実施					「成・シガルし)	-0						-			事業の	目的と実施内容との関	見   込   み	の説明	

			会計区分	一般	会計	担当課	B C	警防	方課	担当伊	Ę			重点事業			分	導入から19年が約団)を更新し、災害					①②複雑多様化 計画的な車両更	新が必要である	が、社会情勢に	
R6		_	本目標		車等整備事業 な環境で安/		暮らせるま	まち							-	Ш	② 生	ができた。 資機材搬送車に <sup>*</sup> 産が遅れ、令和5	年度内の約	内車が不可能と	なり繰越り	月許となっ	給が不足し、車両	<b>両の納期が長期</b>	化している。	
		ī	政策	3 消防	力を高めるる	まちづく	(1)											が、今年度に更親 できた。	f整備するこ	ことができ、消防	力の基盤	強化を維				
			施策		施設•設備•			化を図り	 ります							_	事					事				
					別の充実強化									対応を行うため、緊	急	事業	<b>龙</b>					業				
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<b>本</b> 系	Toda I	整備事業に	こより、緊	急車両等を記	計画的:	かつ適切	川に更新	がする。	車両等	の更新及び	整備を実施	する。		С		果					題				
村	既要	事業の							事 第 <i>0</i>						H E C K											
		目的							根						評					各評価	洁果				総合判定評価	<b>E</b>
															価	評		業コスト評価 一般財源	成	指標評価 S	-	事業内容	P評価 評価内容	B 事業	の進め方の改善	善の検討
																析		86.1% D	<b>#</b>	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R8年度の方向	  性
T		7	款項	目	事業番号						事業名和	<b></b>				総	年	※事業コスト	効	1 B	有効性	4:高い	計画の進捗と成:		縮小↓ 成	果維持
		予 算 _	9 1	3	200000		防自動車									判 —		54.5% D	率		必要性		- に近い状態⇔「言 画通り」	改善		の進め方
	-	用	R5年度		86年度	前年		前年		財源 <sup>国</sup> 内訳		支出金 地方 26,000 26,70		の他 一般財源			旦  更	新し、消防力の基	盤強化に動	鼻人から19年か 陰がった。また、	経過し老 更新車両	り化した消防団ス 及び資機材の変	ポンプ自動車を更き 更点を事前に消収	新整備したことや 方団本部及び分	P、繰越明許で第 団に説明し、ス.	食機材搬送。 ムーズに運
	,	_	35,172,	,000	35,517,000		345,000		101.0%	7 7 17 (	0 7,02	20,000 20,700	5,000	0 1,191,0	000	価   言	评	始することができ	<i>t</i> =。							
			項	<b>■</b>	R4年度		R5年度		R6年度			事業費	內訳			fi	西									
			予算		37,330,0		35,172,0		35,517,00		節	決算額		節 決算		1	<u> </u>	- 東京だについてに	上一些工作主				成果及び今後の方 1787日 でいく	向性		
		-	 決算 不用		37,326,3	399 301	23,018,2			64 01 報 36 02 給			16 公有	財産購入費 品購入費 34,958,	0 C	חת	)(2)甲	両更新については	に、沿して育業	マグロ	育勢を考慮	した上で予昇を	催保していく。			
		-	執行		100			5.4%		9% 03 職				は、補助及び交付金	I	える										
I,	<b>+</b>		国庫	支出金		0		0		0 04 共	済費	0	19 扶助	力費	0 N	多										
1	<b>手</b> 集	決	財 ──	支出金	10,000,0	_	7,296,0			00 05 災			20 貸付		0 改											
		算	源	:方債 -の他	25,600,0	000	15,100,0	000	26,700,00	0 06 恩	合及び退職年金 			補填及び賠償金	0 0		款	項	Image: second content of the s	事業番号				事業名称		
ŀ	<b>-</b> [ ]	用	<b>₽</b>	設別 設財源	1,726,3		622,2	242	1,157,86	0 07 和 64 08 旅				及び出資金	0		<sub>- 赤人</sub> 9	1	3	200000	消	方自動車等整備:		尹未有你		
5	分析	_		年比較	24.5%	Α :	36.0%		86.1%	09 交	際費	0	24 積立	<b>Z</b> 金	0			予算額 前	年増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財
•			職員人		1,074,0	_	625,0			00 10 需		,	25 寄附		0			117,427,000	81,910,00		内訳	С	0	116,900,000	0	527
			総事業 前年」		38,400,3		23,643,2 61.6%		36,537,80 54.5%	64 11 役 ) 12 委			26 公割 27 繰出		200			<ul><li>・消防団ポンプ</li><li>・消防自動車(</li></ul>	菊川化学1	)の更新整備			下     期			
		-		-1+X 方災・減災		Α	01.0/0	^ '			<sub>ロレイイ</sub> 用料及び賃借料		予備		0	R	27	<ul><li>・消防団ポンプ</li></ul>	自動車の見	も おりゅう こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅう			実施施			
			財合併物	寺例債					11,400,00	00 14 エ	事請負費	0				<u> </u>	年	<u> </u>					内容			
		<b>□</b>	総事業コス主に、資機	トは前年 材搬送車	等減災交付 に比べ増額。 が半導体不	となった				00 15 原 ・見込めず		をこれ ほこう ほうしゅう ほうしん ほうしん ほうしん はいま しんしん しゅうしん しんしん しん	合計	35,483,8たことによる備品!									変更見込			
		スト分析	入費等の均	引に1千つモ	のである。										P L A	    実		計画額 前	年増減額	前年比	財源	国庫支出金	リング み 単文出金	地方債	その他	一般財
L		ולו			_										N 取	行			16,545,00			0	10,000,000	74,300,000		10,00
					事業指	/標∙評		現状値	直 目標値		4年度 1 実績値	R5 <sup>2</sup> 目標値		R6年度 目標値 実績	<u> </u>	画		·消防自動車( ·消防団車両(	ポンプ車)を	上更新			毎 るが、	国動車(菊川タン 菊川化学1に比	べると更新費用	<sub>用をア疋して</sub> が少ないこ
				指	票名		_   ∴  —	年度	年度	達成率		達成率	評価	達成率 評価	小口			·消防自動車( ·消防団車両(					皮  から減   比	複の見込みであ	5る。	
		指 標	成果	聚刍 亩 而	等の更新・整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	台	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0 2.0	•								較			
	1	評 _	1	糸心手叫	サの文列・正	E 1/FB		1	7	100.09		50.0%	Е	200.0% S	-0								増減			
ŧ		価	成果 2					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	実 施		身 が	E					要し			
村	票 •	F	効率	緊急車両	等の車両数の	の維持	台 —	33.0	33.0	33.0	33.0 B	33.0 100.0%	33.0 B	33.0 33.0 100.0% B		R 4	R8	9					救急車 R9 菊川タ	車(救急菊川3)の シク1に比べる。	)更新整備を予 ≤更新費用が少	定している? ないことか?
P	色	事業実施内			車を更新整 繰越明許に			<u></u> ・ 美車を更	三十二・一	l		100.0%		100.0%		) <i>l</i> :							度増減見込みよりである。	<b>込である。</b> EJの説明		
		容															複	雑多様化する災害	害から、市日	民の生命、身体	及び財産る	で守るために必要	要な事業である。			

象年		業会計		投会計 担当	<b>4課</b> 警[	防課	担当係		重点事業				ェーンソー、救命胴衣、 消防力を充実強化する。		を購入(73				でなく、必要に応ることが必要で	
R6		事業名	名 消防施設	と 等整備事業	·							213	5火水槽、消火栓の点検 と替えを2箇所実施し適	1,071箇所、修繕6	箇所及び	消火栓の		31-4-111 - 12-2		,, w
		基本目标	標 4 快通	<b>適な環境で安心し</b>	て暮らせるまち								体制の充実強化を図る		_C ( , /A)	奶 加				
		政策	3 消防		 づくり															
		施策									_ 事					事				
				制の充実強化を			防火水槽の維持管理	理 消火栓の設置及7	「移設並び」に当時か		事業	ŧ				業				
		備事	業により、消防	水利や消防資機		管理し、	利の修繕を行うとと	もに、大規模災害に活	所する資機材を整		業成果	į				題				
<u>//</u> 亿	本	計画的	<b>]的に更新する</b> 。				備をする。													
	系									С										
· 十   <sub>相</sub>	• 既 :	事				事				H										
可量要	既更	業 の				業   の				C										
		∄				概				K _ =π				<i>A</i> =π /π /	+ 88				<b>纵入业内</b> 录压	
		的				要				価	<u>=</u> ₩			各評価組	后未 T				総合判定評価	
											価 —	事第	コスト評価	指標評価		事業内容評	西		どおりに事業を達	進めることが
											分析第	ર	-般財源 成	1 B	Ī	評価視点	評価内容	一 A 適当		
											·   前	<b>5</b>	B.1% A A 果	2	効率性	4:高い	現状維持		R8年度の方向	生
		款	項目	事業番号			事業名称				総合出		事業コスト 効	1 B	有効性		画の進捗と成集 近い状態⇔「計	コスト	維持→ 成!	果 維持-
		算 9	1 3		消防施設等整備						合 比判—	5	D.0% A 率	Mark Landard	必要性	4:高い 画	通り」	改善	①事業の	
	1	<del></del>					計源     国庫支出金     県支       3訳     0 1.22		D他 一般財源				資機材の更新整備や、	消防水利(防火水	槽及び消	火栓)の修繕を実施	したことにより、	消防力の維持!	強化に繋がった。	
	,	<i>-</i>	6,583,000	5,862,000	721,000	89.0%	1,22	3,000	0 4,639,00		定   <sub>担</sub> 評   当 価   評	á   F								
	-		項目	R4年度	R5年度	 R6年度		 事業費内訳			価	Б								
			予算額	5,255,000	6,583,000	5,862,000	節	1	<b>決算額</b>	Α				課題に対	する改善:	案と想定される成果	及び今後の方向			
			決算額	5,229,662	6,162,975	3,531,872	· 01 報酬	0 16 公有	財産購入費	0 C	<del>1</del> п 2:	毎年ま	施する水利点検を早期	に実施し、修繕箇月	听を把握し	て適切な対応を図る	5.			
			不用額	25,338	420,025		02 給料	0 17 備品	購入費 575,50	_	え									
			執行率	99.5%	93.6%		03 職員手当等	0 18 負担金		0 0	る。									
導	事		国庫支出金 県支出金	2,758,690	066,000		04 共済費 05 災害補償費	0 19 扶助 0 20 貸付		0 N 0 改	る変化									
		夬 財 - 章 源	地方債	389,000	966,000		05 火音補1負負   06 恩給及び退職年金			善善										
	z i	一内「	その他	0	0		07 報償費	0 22 償還金、		0		款	項目	事業番号			哥	事業名称		
		司記	一般財源	2,081,972	5,196,975	3,021,872	08 旅費	0 23 投資	及び出資金	0		9	1 3	100000	消队	<b>方施設等整備事業</b> 費	t			
<b>ラ</b> 村	<b>が</b>   `		前年比較	39.1% A		58.1% A	09 交際費	0 24 積立		0			予算額 前年増減		財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			職員人件費	107,000	1,204,000		10 需用費	307,672 25 寄附		0			5,247,000 △ 615			0	1,197,000	0	0	4,050,0
			総事業コスト 前年比較	5,336,662 94.9% B	7,366,975 138.0% D	3,683,872 50.0% A	11 役務費 12 委託料	0 26 公課		0			<ul><li>・大規模災害及び緊急</li><li>・消防水利点検(防火)</li></ul>	バ月105法助隊員機で 水槽、消火栓)及び	点検結果	<sub>史新)</sub> に基づいた、修繕 <i>の</i>				
				■ 94.9% B ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■ 日 ■	130.0% D		13 使用料及び賃借料	1,670 予備			R	7	実施 ・消火栓の布設替え				実施			
		主財	- DIR 7-112717	K 17 #2002 F1 III		0.0,000	14 工事請負費	0			R 年 度	≝  実 施	<b>バス性の心臓音だ</b>				内			
		源					15 原材料費	0 合計	3,531,87	2	130	内					容			
				に比べ減額となっ		<b>ハ</b> でなる						容					更			
		スーエに、		当りまたるの味口	並り減に作りむ	7 C0700°				Р										
		分								L			計画額 前年増減	額前年比	DL YEE	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	;	折								N	実 行			0,000 112.29	財源 内訳	0	1,639,000	10万頃	132,000	4,116,0
				事業指標•	評価		R4年度	R5年度	R6年度	取	計		<ul><li>大規模災害及び緊急</li></ul>	消防援助隊資機村	の購入(		D7 消火栓(	の布設箇所の均	曽を予定している	
			占	標名	単 現状(	値 目標値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	╛組	画事		·消防水利点検(防火z 実施	水槽、消火栓)及び	点検結果	に基づいた、修繕の		5.		
				1赤口	位年度	年度 年度	達成率 評価	達成率 評価	達成率 評価	み	業		・消火栓の布設替え				度比			
≣		指 成 規	えま     防火水槽	∮・消火栓の点検	<u> </u>	1.0	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0	D D	闬						較増			
三 ○ 〈 平	7	泙1	1		1	0.0	100.0% B 0.0 0.0	100.0% B 0.0 0.0	100.0% B 0.0 0.0	0	<u> </u>						減			
三 ○ 〈 平	1		# 申				0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	実施		実施					要因因			
三 ( 平	1	西 成!	t果 2		0.0	0				"."	R	8 内					ン欠 +燃 ++ i	+	ト川歯短目になって	* ある
F T	旨		2	・消火栓点検の!	0	0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0		- 年						R9   頁版例:	整備数の増に。	い「自倒兄込の(	ه که دری د
ま こ で 平 面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	· 一	西 成 <sup>1</sup> 2 効 <sup>2</sup> 1	2 <sup>]</sup> 率 防火水槽 1 (上半期)		0 早期 % 100.0	0 0 100.0 7	100.0% B	100.0 100.0 100.0% B	100.0 100.0 100.0% B		R8 年 度	容					R9     年	整備数の増に。	い。自領兄込み	. 69.00
三〇く平面 - 井村・写放	指票• 実布	西 成 <sup>1</sup> 2 効 <sup>2</sup> 1 ①大打	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	・消火栓点検の! )実施 緊急消防援助隊 K槽、消火栓)の!	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。			-	年度	音   谷					R9   年   度   増	整備数の増に。	い。自俄兄込み(	. 00.00
三〇く平面	指票・実布力な	西 成! 2 効 <sup>3</sup> 1 1大! ②消!	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。			-	角度	子 谷					R9 年 度 増 減	整備数の増に。	いる。	. 0.0
三〇く平面	指票· 実布为容 ————————————————————————————————————	西 成 2 分 1 1 大 2 消 「	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。				度	F 谷 E					R9年度增減見込	整備数の増にる	<b>いられた。</b>	
三〇く平面	指票· 実布为容	西 成 2 効 1 1 (2)消 事業 実	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。				年 度	答					R9年度増減見込み		、	
三〇く平面	指票• 実布为容 ————————————————————————————————————	西 成 2	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。				度		10HA 6H7 (81)			<b>近内容との関連性「</b> 種	R9 年度増減見込み 対性と妥当性」	の説明		
1. 2. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	指票• 実布为容 ————————————————————————————————————	西 成 2 分 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。				度		その生命、身体及び財産				R9 年度増減見込み 対性と妥当性」	の説明		
村・写がけ	指票• 実布为容 ————————————————————————————————————	西 成 2	2 <sup>1</sup> 率 防火水槽 (上半期) は規模災害及び	) 実施 緊急消防援助隊 <i>)</i>	0 早期 % 100.0 1 用資機材(備品・)	0 0 100.0 7 消耗品)を購り	100.0% B 入した。				度		その生命、身体及び財産				R9 年度増減見込み 対性と妥当性」	の説明		

対象年	年度		会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係		重点事業			・加茂地内及び <sup>-</sup> 消防力の基盤強		こ耐震性貯水槽( 。	防火水槽)		・耐震性貯水槽(防) 進めていく必要があ			
R6	6	틕	事業名 貯	<b>宁水槽整備事業</b>													難な状況である。			
		基	本目標 4	4 快適な環境で安	心して暮らせるま	ち														
			政策 3	3 消防力を高める	まちづくり															
			施策		体制の充実強化を	 を図ります					事					事				
	-			受備・体制の充実強化			大規模地震発生時に	こも水利の確保が可能	能となる耐震性貯水	_ :	事   業 業   成					業				
			業により、消 備する。	が水利の基盤となる	)耐震性貯水槽を	計画的に整	槽を整備する。				果					題				
総	体 系		ин 9 00 о																	
	-									C										
画	概要	事業				事				E										
	安	の				0				C										
		目的				概     要				評				各評価	結果			糸	総合判定評価	<b>5</b>
										価	平一	事業コスト評価	i	指標評価		事業内容				
										位 分	四 分 分 分	一般財源	ct:	1 B	部	平価視点	 評価内容	B 事業の	進め方の改善	<b>善の検討</b>
										力材		414.0%	成 _ 果	2	効率性	4:高い	A 現状維持	RS	 3年度の方向	
			款 項 目	目 事業番号			事業名称			-   <sub>*</sub>	•   前 総   年	※事業コスト	D 効	1	有効性	4. 高い	計画の進捗と成果		宿小↓ 成	
		予質		3 400000	貯水槽整備事	 事業費	776 417			- \f	슬 네	103.7% D	率	•	必要性		に近い状態⇔「計 画通り」	改善		の進め方
		<del>71</del>	R5年度	R6年度	前年増減	前年比財	源 国庫支出金 県支	出金 地方債 その	D他 一般財源	1 F	刊   — 包   #	・加茂地内及び	下平川地内に	こ耐震性貯水槽(	防火水槽)		防力を充実強化する	ることができた。		
		田 ]	24,447,0	27,392,000	2,945,000	112.0% 内部	10 0	0 27,300,000	0 92,00	0	総合判定平面 担当部	<u> </u>								
	L									_ 10	<b>カー</b> 評	<del>[</del>								
			項目 予算額			R6年度 27,392,000	節	事業費内訳 決算額 第二章	<b>沧</b> 決算額		-   "			田町にた	ナフルギタ	となってもって	果及び今後の方向性	<b>#</b>		
			) 決算名					0 16 公有			. ⊴	う後は耐震性貯水構	曹(防火水槽				(発生に備え、老朽f		防火水槽の耐	耐震化を計画
			不用客		100 23			0 17 備品		0 T D	加加	に進め、耐震化率を	を上げていく。	0						
			執行科	率 100	0.0% 100.0	95.6%	03 職員手当等	0 18 負担金	補助及び交付金	カラマー ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロ	3									
	車			支出金	0		04 共済費	0 19 扶助		1	<b>変</b> レ									
	業	決	I 駅	1,828,			05 災害補償費	0 20 貸付			_									
	$\neg$	算	源   地/	方債 19,400,	000 22,600,00		06     恩給及び退職年金       07     報償費	0 21 補償、社		0 晋		抽工百		古			事	 業名称		
	スト	闬	記 — 一	の他 対源 31,	900 18,76		07 報順負 08 旅費	0 22 償還金、 0 23 投資.		0		款 項 9 1	3	事業番号 400000	貯水	 <槽整備事業費	尹ź	未合物		
	分析	)			D 58.8% A			0 24 積立		0		予算額	前年増減額		財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	171		職員人作	件費 1,223,	000 1,642,00	874,000	10 需用費	30,855 25 寄附	金	ō		32,970,000	5,578,0			0	2,664,000	30,300,000	0	6,00
			総事業コ				11 役務費	0 26 公課		2		耐震性貯水	k槽(防火水	槽)の整備			下     期			
			前年比		D 116.0% D			0 27 繰出		2	R	7					実			
			主   灯水僧     財	整備事業債				0 予備	其	4	年 月	実					施			
			源				15 原材料費		00.177.05			- +/-					容			
	ŀ		終事 業コスト					0 合計	26,177,85	5	月月	内					一			
		П		トは前年に比べ増額		* - IV IV I		0 合計	26,177,85	5	及	₹					変			
				トは前年に比べ増額 費及び材料費の高騰		 豊の増に伴うもので		0 谷計	26,177,85		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内					変 更 見			
		スト				豊の増に伴うもので		0 合計	26,177,85	P L		容					変更見込み			
								0 合計	26,177,85	P L		内 容 計画額	前年増減額		財源	国庫支出金	変 更 見 込 み 県支出金	地方債	その他	一般財源
СН		スト分		<b>費及び材料費の高騰</b>	たとる工事請負責	サの増に伴うもの <sup>↑</sup>	<b>である</b> 。	,		PLAN取 写行言	実 計	計画額       18,000,000	△ 14,970,0	54.69		国庫支出金	変 見 込 み 県支出金 1,828,000	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
H E		スト分		費及び材料費の高騰 事業指	による工事請負責				R6年度	PLAN取 写行言	実 計	計画額       18,000,000		54.69			変 見 込 み 県支出金 1,828,000 R7 耐震性貯 減額要因	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
Н		スト分		<b>費及び材料費の高騰</b>	がによる工事請負責 「標・評価 単 現	見状値 目標値	である。 R4年度	,	R6年度	P L A N 取 ii	実 一 十 画 事	計画額       18,000,000	△ 14,970,0	54.69			変 更 見 込 み 県支出金 1,828,000 R7 年 が が が で が に が に に が に に に に に に に に に に に に に	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
H E C K評		スト分析	主に、人件費	費及び材料費の高騰 事業指 指標名	がによる工事請負責 「標・評価 単 現 位 変	見状値 目標値	である。 R4年度 目標値 実績値	R5年度 目標値 実績値	R6年度 目標値 実績値	PLAN取り組み・写行言回写賞	実	計画額       18,000,000	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 県支出金 1,828,000 R7 年度 比較	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
H E		スト分析 指標評	成果して、人件費が出来して、人件費を与えている。	費及び材料費の高騰 事業指	はではる工事請負責 では、 一番 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	見状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7	である。 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	PLAN取り組	建宁汁 重事業 一子	計画額       18,000,000	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 東出金 1,828,000 R7 年度比較増減	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
HECK評価	七	スト分析指標	成果 加州 成果	費及び材料費の高騰 事業指 指標名	がは、評価 ・評価 単 類 位 基	見状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0	である。 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0	R6年度 目標值 実績値 達成率 評価 2.0 2.0		建宁汁 重事業 一子	計画額 18,000,000 耐震性貯水	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 支出 1,828,000 R7 年度比較増減要	22,500,000 水槽(防火水槽)	0	△ 6,328,00
HECK評価	指標	スト分析 指標評	成果して、人件費が出来して、人件費を与えている。	費及び材料費の高騰 事業指 指標名	はできる工事請負責 は標・評価 単位 が基	見状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0	である。 R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B	PLAN取り組み・DO 写名言画写第一	美宁汁面事業 可 J R R	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 支 1,828,000 県 1,828,000	22,500,000 水槽(防火水槽)	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標 •	スト分析 指標評	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	見状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美元十一百事業 可 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 東 1,828,000 県 支 出 金 1,828,000 R7 年度比較増減要因 ・ 令和8年 ・ 令和8年	22,500,000 水槽(防火水槽 である。	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施	スト分析 指標評	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 東 1,828,000 県 1,828,000	22,500,000 水槽(防火水槽 である。	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施内	スト分析指標評価	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 支 1,828,000   1,828,000	22,500,000 水槽(防火水槽 である。	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施	スト分析 指標評価 事	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み 東 1,828,000 県 1,828,000	22,500,000 水槽(防火水槽 である。	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施内	スト分析 指標評価 事	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R	内容	△ 14,970,0	54.69			変更見込み	22,500,000 水槽(防火水槽 である。	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施内	スト分析 指標評価 事	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R		△ 14,970,6 k槽(防火水	900 54.69 情)の整備	目的と実施	内容との関連性	変更見込み	22,500,000 水槽(防火水槽) である。 :度と同額程度と	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施内	スト分析指標評価	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R		△ 14,970,6 k槽(防火水	900 54.69 情)の整備	目的と実施	内容との関連性	変更見込み	22,500,000 水槽(防火水槽) である。 :度と同額程度と	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが
HECK評価	標・実施内	スト分析 指標評価 事	主に、人件費 成果 1 成果 2 効1	費及び材料費の高騰 事業指 指標名 対震性貯水槽設置個	はは、評価 単 切	現状値 目標値 年度 年度 0.0 2.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0.0 2.0	R4年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 2.0 2.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度       目標値     実績値       達成率     評価       2.0     2.0       100.0%     B       0.0     0.0		美宁汁面事業 可 J R R		△ 14,970,6 k槽(防火水	900 54.69 情)の整備	目的と実施	内容との関連性	変更見込み	22,500,000 水槽(防火水槽) である。 :度と同額程度と	0 )の整備数減	△ 6,328,000 なによることが

4-		**ヘーローハ	, A	<u> </u>	<b>=</b> ⊞	荷女 17+1 =1中	10 11 15			<b>壬上市业</b>			(1):道	防無線や電話設	佐備等の通信	言機器の保守占	(検、诵信	機器使用	12中東遠消防排	旨令センター高格	態能消防指令シ	/ステム全軍
		業会計区分				警防課	担当係			重点事業			料の	の無機で電品設 支出及び無線機 適切に維持管理す	のバッテリ	一4台の更新(	193,600円	)を実施	しょり、救急タブレ 員は早期に新機能	<b>パトなどの新機</b>	能が追加整備を	されたため、
R6		事業名		通信管理事業									<i>t</i> = 。						貝は早期に新機削 通信機器の維持管	Eの収扱いを省別 管理を適切に行	ゃっていく必要が	. コさ枕され ある。
	-	基本目標	75 市民	等の生命、身体	、財産の保護と	とともに、災害	による被害の	り軽減を図り	」、安心・安全なまち	づくりを目指す				東遠消防指令セ 肖防指令センター								
		政策	1 市民	等の安心・安全を	を守ります									本制を確保するこ			X 11 - 21.					
		施策	12 情報:	連絡室業務								事 事 業						事				
				財産の保護ととも					设備等の保守管理や	維持管理を行い、災		業┃成						課				
体系		通信管理 信回線σ	里事業により D維持と中東	全なまちづくりを 、消防無線の維 、遠消防指令セン :業務を運用する	持管理及びそ <sup>,</sup> ターの適切な	の他の通	害に即時	対応できる	体制を確保する。		С	果						題   				
	車	- J-2 (\)				<u> </u>	<b>E</b>				H											
概要	業	<b>*</b>				=					E											
	の目	) 				C	D 班				K _											
	的					= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =					評し				_	各評価結	果				総合判定評価	<b>6</b>
											1,224	評   価	事業	コスト評価	指	標評価		事業内容詞	平価	計画は	どおりに事業を	進めること
												分	-	·般財源	成	1 B	部	平価視点	評価内容	一 A 適当		
											;	竹 算	9.4	.7% A	果	2	効率性	4:高い	A 現状維持		 R8年度の方向	性
		款項	i 🛮 🖹	事業番号				事業名称			<del> </del>   ;	•   前 総   年	総事	事業コスト	効	1 B	有効性		計画の進捗と成果		維持→ 成	果維持
	予質				 常備消防通信	管理費					<b>–</b>	総合比		.7% A	率		必要性	4:高い	に近い状態⇔「計 画通り」	改善	①事業の	
	角	R5年	F度 R	6年度 前年	年増減	前年比	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	支出金 県支	出金 地方債 その	の他 一般財源		<b>—</b>	①無	線機器・電話設備 害対応への体制			ううことが	できた。				
		25,70	07,000 2	2,696,000 🛆	3,011,000	88.3%	内訳	0 64	1,000 0	0 22,632,00		正   担 評   当 価   評		古对心、心冲的	」の、 市1〜畑	に下てるだ。						
		-	<del>-</del>	DA左座	DE C E	DO左连			<b>本**</b> #中記		-											
			項目 ·算額	R4年度 25,229,000	R5年度 25,707,000	R6年度 22,696,0	00	節	事業費内訳 決算額	節 決算額		+				課題に対す	よる改善室	をと想定される成	果及び今後の方向	5性		
			算額	24,337,574	23,951,329		83 01 報酬		0 16 公有		o ĉ	1 12	②高機	能消防指令システ	テムの全更	新と併せて新力	とな機能が	が整備されたため	、職員の習熟度を	更に上げていく	とともに、災害に	に即時対応
			用額	891,426	1,755,671		17 02 給料		0 17 備品			加  きる え	体制を	を確保するため、	高機能消防	5指令システム <sup>3</sup>	をはじめと	:する消防通信機	器の維持管理を通	<b>適切に行っていく</b>	• •	
		執	1行率	96.5%	93.2%	89.	4% 03 職員	手当等	0 18 負担金	、補助及び交付金 16,954,98	4 O	る										
車			庫支出金	0	0	)	0 04 共済	-	0 19 扶助		O N	る変化										
業	決	と 財 ├─	県支出金	58,000	67,000	64,0	00 05 災害		0 20 貸付													
コス		F """	地方債その他	0	0	)	0 06 恩給		0 21 補償、				款	項目	<b>a</b>	事業番号			급	事業名称		
<b> </b>	角	?   ≣₽	一般財源	24,279,574	23,884,329	20.231.7	83 08 旅費		0 22 頃曜並				水 9	1 1	1	100000	学備	請消防通信管理費		10000000000000000000000000000000000000		
分析	)	,	前年比較	85.2% A	98.4% B	84.7%			0 24 積立		0		-	予算額 前年	 丰増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財
171		職員	人件費	902,000	329,000	28,0	00 10 需用	費	26,840 25 寄陈	1金	0		2	27,932,000	5,236,000	123.1%	内訳	0	40,000	2,200,000	0	25,692
			業コスト	25,239,574	24,280,329		83 11 役務	-	847,499 26 公課		0			・消防無線の保 ・無線機再免許・			の管理		下 期			
			年比較	87.4% A	96.2% B				2,272,860 27 繰出		0	R7	,	•中東遠消防指	令センター	運営経費負担金		+ 2 17 A a + 11	実			
		그나 를		<b>亲淑汉父</b> '可'带		64,0	14 工事	料及び賃借料 証 <b>詰 台 </b>	0 予備	1		年度	実	•中東遠消防指	令センター	電気設備防水質	E設直工制	事員担金の文出	施内			
		<u> </u>	雲•津波対策	1,1,2,2,2,1,3,22					0 合計	00.005.70			<del></del>						容			
		主 財源	责•浑波对策				15 原杉			20.295.78	3	度	内						亦			
		財源総事業コ	コストは前年	こ比べ減額となっ	o <i>t</i> =。		15 原材		l	20,295,78	3	度	施内容						変し			
	コス	おります。 おります。	コストは前年		った。 袁消防指令セン	ンター運営経済			l	20,295,78		度	内						変し			
	スト	総事業ココ主に負担	コストは前年	こ比べ減額となっ	った。 遠消防指令セン	ンター運営経済			l	20,295,78	P L	度	容						変更見込み			
	ス	総事業ココ主に負担	コストは前年	こ比べ減額となっ	った。 遠消防指令セン	ンター運営経			l	20,295,78	P L A	  実	容		丰増減額 14 000 000	前年比	財源	国庫支出金	変 更 見 込 み 県支出金	地方債	その他	
	スト	総事業ココ主に負担	コストは前年	こ比べ減額となっ び交付金(中東道	遠消防指令セン	ンター運営経	貴負担金)の	減に伴うもの	<b>のである</b> 。		PLAN取	 実 行 計	容	12,835,000	14,903,000	153.4%	内訳	国庫支出金	変 更 見 込 み 県支出金 534,000	0 策棟への消防情	0	42,301
	スト	総事業ココ主に負担	コストは前年1 旦金、補助及す	こ比べ減額となる び交付金(中東達)	製造の指令セン		貴負担金)の	減に伴うもの	のである。 R5年度	R6年度	P L A N取り	実 行 計 画	容	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金	変 更 見 込 み 県支出金 534,000 R7 年 災害対策	地方債 0 策棟への消防情 いるため増額見込	0	42,301
	スト	総事業ココ主に負担	コストは前年	こ比べ減額となる び交付金(中東達)	整治的指令セン 評価 単 現:		表 素 負担金)の R4 直 目標値	減に伴うもの	<b>のである</b> 。		P L A N取り組	実 行 計 画	容	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup>	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金	変 見 込 み 県支出金 534,000 R7 年 度	0 策棟への消防情	0	42,301
1	スト分析指	おいます。	コストは前年1日金、補助及る	こ比べ減額となる び交付金(中東達 事業指標・	評価 単 現 日	状値 目標係	表 素 負担金)の R4 直 目標値	減に伴うもの 年度 実績値	のである。 R5年度 目標値 実績値	R6年度 目標値 実績値	PLAN取り組み・	実行計画事業	容	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金	変 更 見 込 み 県支出金 534,000 R7 年 災害対策	0 策棟への消防情	0	42,301
1	スト分析 指標評	お	コストは前年1日金、補助及る	こ比べ減額となる び交付金(中東達)	評価 単 現 句 日	状値 目標( F度 年度 1.0 1.0 1 7	表 (表 (表 (本) 日標値 (達成率 (1.0) 100.0%	無限 年度 実績値 評価 1.0 B	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B	P L A N取り組み・D	実行計画事	容	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金	変 更 見込み 県支出金 534,000 R7 年度 比較増減	0 策棟への消防情	0	42,301
ī	スト分析	・ 対源	コストは前年1日金、補助及る	こ比べ減額となる び交付金(中東達 事業指標・	評価	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 7.0.0 0.0	表 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	減に伴うもの 年度 実績値 評価 1.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業(円)	内容	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金 0	変 更 見込み 果 支出金 534,000 R7 年度比較増減要	0 策棟への消防情	0	42,301
i i	スト分析 指標評価	・ 対源	コストは前年日金、補助及る	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理	評価 単位 中 位 日 0	状値 目標(F度 年度 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0	無度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金 0	変 更 見込み 果 支 334,000 R7 年度比較増減要因 デジタリ	0 策棟への消防情 いるため増額見3	0 『報系端末機器 込みである。	42,301 移設工事
· · · · · ·	スト分析 指標評価	・ 対源	コストは前年日金、補助及る	こ比べ減額となる び交付金(中東達 事業指標・	<ul><li>評価</li><li>単 現</li><li>位 年</li><li>0</li></ul>	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 7.0.0 0.0	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0	無限 年度 実績値 評価 1.0 B	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金 0	変更見込み ま 534,000	0 策棟への消防情いるため増額見ま	0 『報系端末機器 込みである。	42,30 <sup>1</sup> 移設工事
指標・実	スト分析 指標評価	対源   本	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0%	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業(円)	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	0	変更見込み       県支出金       534,000       R7 年度比較増減要因       デジタル	0 策棟への消防情いるため増額見ま	0 『報系端末機器 込みである。	42,30 <sup>1</sup> 移設工事
指標・実施内	スト分析 指標評価	対源   本	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0%	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金 0	変更見込み 出     金       534,000       R7       年度比較増減要因     デみ       ジである       が変更見込み 当時       下のより       デみ	0 策棟への消防情いるため増額見ま	0 『報系端末機器 込みである。	42,30 <sup>1</sup> 移設工事
1 ::: ) : (平版 指標・実施	スト分析 指標評価 事	T	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0%	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	国庫支出金 0	変更見込み 出	0 策棟への消防情いるため増額見ま	0 『報系端末機器 込みである。	42,301 移設工事
指標・実施内	スト分析 指標評価   事業実	Table   Ta	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0%	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% D及び通信機器 R系端末機器移	内訳 の管理 設工事	0	変更見込み 出     金       534,000       R7       年度比較増減要因     デみ       ジである       が変更見込み 当時       下のより       デみ	0 策棟への消防情いるため増額見ま	0 『報系端末機器 込みである。	42,301 移設工事を
標・実施内	スト分析 指標評価   事業実施	Table   Ta	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0%	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容 実施	12,835,000 ・消防無線の保 <sup>-</sup> ・災害対策棟へ0	14,903,000 守点検実施 の消防情報	153.4% E及び通信機器 好系端末機器移 運営経費負担会	内訳の管理事との支	0	変更見込み 古 534,000会 534,000対対 (	の 策棟への消防情いるため増額見記 い無線の全更新る。	0 『報系端末機器 込みである。	
指標・実施内	スト分析 指標評価   事業実	Table   Ta	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容	12,835,000 ・消防無線の保・ ・災害対策棟へい・中東遠消防指・ ・中東遠消防指・	14,903,000 守点検実施の消防令センター:	153.4% 直及び通信機器 最系端末機器移 運営経費負担金 事業の目 の下に、災害に	内管工事との支援を	内容との関連性「	変更見込み は 変更見込み は ま 534,000会 534,000対対 デみR7 年度比較増減要因 デみ デみデみ	の 策棟への消防情へるため増額見が	0 請報系端末機器 込みである。 を計画している	42,301 移設工事を
指標・実施内	スト分析 指標評価   事業実施内	Table   Ta	コストは前年 日金、補助及 指 糖線機の 無線機の 無線機用 無線及び電調	こ比べ減額となる び交付金(中東) 事業指標・ 票名 適切な維持管理 備品の早期購入 話設備の保守点	禁消防指令セン 理価 単 現	状値 目標(F度 年度) 1.0 1.0 1 7 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0.0 1 7 1 世報 (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の (世界の	表 (R4 直 目標値 達成率 1.0 100.0% 0.0 100.0 100.0	年度 実績値 評価 1.0 B 0.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 1.0 1.0 100.0% B 0.0 0.0	P L A N取り組み・D O実	実行計画事業「円」	内容	12,835,000 ・消防無線の保・ ・災害対策棟へ ・中東遠消防指・	14,903,000 守点検実施の消防令センター:	153.4% 直及び通信機器 最系端末機器移 運営経費負担金 事業の目 の下に、災害に	内管工事との支援を	内容との関連性「	変更見込み は 変更見込み は 	の 策棟への消防情へるため増額見が	0 請報系端末機器 込みである。 を計画している	42,301移設工事を

	度目	1業会	会計区分 一般	会計 担当	課 予防	防課	担当係		重点事業				予防に係るチ					R6年度は死者			
R6				·	Hely J I	193 1514	2-4/1/		±/11/7/200	-		広報誌「	、街頭広報・イ 「きくしょう119」	の発刊(11	月、2月)及び7	75歳以上	の高齢者	⊧だ高齢者が死τ 冷者世帯への火災	炎予防広報をす	ミ施し高齢者に対	する火災予
		基本		が環境で安心して	で暮らせるまち					-		高揚を図	軒)に対する火 図ることができ	た。				及び住宅用火災警	警報器設置の呼	呼び掛けが必要で	である。
				シカを高めるまちつ						-		②わくわ	っく消防体験プ 県主催防火ホ	ログラム、	ト学5年生対象 クール(幼年消	防火ポス	スターコン 目が免り応				
	H									_	事	募。市内	内施設(小笠中:	央公民館、	菊川文庫)で防	火ポスタ					
	H		施策 3 市民 市民の防災意識の	この防災意識の高 享場を図るため		★ <del>立</del> 区 ) / □	街頭広報や防ルイ/	、ナーの開催により、†	5月の防业音識の草	事	事 │ 業 僕 │ 成	掲示し、	市民の防火意 対象物施設(26	i識の高揚 05施設)・危	を凶ることがで 1険物施設(16	きた。 1施設) <b>へ</b>	の立入検 課				
		ょ	より、住宅用火災警	報器設置•維持管	理の啓発や広執	设活動、	揚を図るとともに、事	業所からの火災等の	)災害を未然に防ぐ		果	查実施、 対象物の	、危険物取扱者 の消防同意(51	皆試験事前 (件)及び危	講習会開催(予 除物施設の設	受講者254 置・変更調	名)、防火 題 4可(24件)				
総	本		方火イベントの開催 沂における防火・保				ため、立人検査や語 る。	習会を行い、防火、係	未女体制を催保 9			を行い、	事業所におけ								
	系•									C H		た。									
. <del>ப</del> ி	M.	事 業				事業				E											
3	<del>-</del>	の 目				の機				C K											
		的				要				評					各評価結	果				総合判定評価	6
										価  計	平 	事業コス	スト評価	指	票評価		事業内容評	· 在	. 計画	iどおりに事業を	進めることか
										"	7	一般則	財源	成 1	В	Ē	平価視点	評価内容	A 適当		
										村	プ   決   算 :	94.9%	ВС	果 2		効率性	4:高い	A 現状維持		R8年度の方向	 性
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	款 項 目	事業番号			事業名称			-	総 年 計 日 上	総事業		効 1	S	有効性		†画の進捗と成界 こ近い状態⇔「計		維持→ 成:	果維持
		予 二	9 1 1		予防事業費					1   1	計 判  —	104.1%		率		必要性	4:高い	画通り」	改善	①事業の	
	-   -	<b>用</b>				年比 財 91.7% 内					とし担	火災警幸	報器の設置率	上昇を阻害	する要因は、注	肖防法が	実施した高齢者に 平成16年に改正さ	特化した広報の れ、平成22年4月	成果はあったと 引1日からすべ	:感じる。しかしな ての住宅に住宅	から、任名) 用火災警報
	,	<u> </u>	1,608,000	1,475,000 △	133,000	91.7%	U I	1,000	0 1,464,000		<b>五</b> 評	の設置が	が義務付けられ	れたが、古い	い住宅に設置さ	されてない	ことなどである。				
			項目	R4年度	R5年度	R6年度		事業費内訳			価										
			予算額	1,282,000	1,608,000	1,475,000	節	17 17 17 17	決算額	Α			# 1812 do m 1.4	V/ ## +D DD -			案と想定される成界			1 21- 4	11/15
			決算額  不用額	1,168,829	1,557,792 50,208	1,290,922	01 報酬 02 給料	0 16 公有原 0 17 備品	財産購入費 (	C b	□   を用	部で有世代 開し、住写	<sup>帯か任宅用火</sup> 宅用火災警報	災警報器を 器の設置 <mark>打</mark>	設直・維持官は 性進を進めてい	里する <i>たは</i> く。	かに、親族や近隣位	E氏寺にも関心を	付つてもらえる	ように、幅広いせ	は代への広
		$\vdash$		91.2%	96.9%		02 和科 03 職員手当等	0 17 1/用口口		I	5										
	_		国庫支出金	0	0		04 共済費	0 19 扶助	費(	O N S M	足上										
当	<del>事</del> 業	決	財 県支出金	0	93,000	,	05 災害補償費	0 20 貸付													
	<b>-</b>   .	算一派	源 地方債	122 500	115 500		06     恩給及び退職年金       07     報償費	0 21 補償、補		一		±hı	·香 □		古米平口			-	事業名称		
1	スト	用   i	内 その他 訳 一般財源	133,500 1,035,329	115,500	1,279,922		3,000 22 償還金. 0 23 投資.			_	款 9	項 目 1 1		事業番号 400000	予防		=	<b>手</b> 耒石仦		
5	分   · 折	]	前年比較	97.3% B	, ,		09 交際費	0 24 積立				予算	算額 前年	増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1			職員人件費	0	11,874,000	12,690,000		1,255,590 25 寄附		)			,	△ 237,000	83.9%		0	14,000	0	0	1,224,
			総事業コスト 前年比較	1,168,829 99.3% B	13,431,792 1149.2% D		11 役務費 12 委託料	32,332 26 公課 0 27 繰出				-戸	₹別訪問指導は	こよる住宅が	用火災警報器(	の設置、約	ち広報誌の発刊 推持管理の推進	下     期			
		_		┃ <sup>99.3%</sup> <b></b>	1149.2% D	11,000		0 予備			R7	- Rts	肖防体験型イベ 方火対象物、危			フールなど	で開催	実施			
		具	エ 財			·	14 工事請負費	0			年度	│ <u>₹</u>  ・防	方火対象物の消	肖防同意、1	<b>危険物施設の</b> 詞	许認可事。 除物安全	務 :協会事務を通じ <i>た</i>	内			
	L		源				15 原材料費	0 合計	1,290,922				八人 6 连石 貝T			灰彻女王	. 励去事物で通じた	· 市井   <del>                                   </del>			
				しょく 1台 東西 しょうしょ								<b>内</b> 333 A	会の開催	6以1守碑百	2 ( 20/11/2/2			変			
			総事業費は前年に 上に職員人件費の <sup>1</sup>	比べ増額となった。 増に伴うものである										64以1守再百	2 ( )() ( )			変更見			
		コ ス ト								P		<b>内</b> 333 A		谷以1守碑 白	_			変更見込			
		コスト分								P L A 写		<b>内</b> 333 A	会の開催	E 増減額	前年比	財源	国庫支出金	変更見	地方債	その他	一般財派
		コ ス ト		増に伴うもの である	<b>5</b> .			D. 4. (#	P.0/F.F	P L A N	〒	内容 計画 1,2:	会の開催 回額 前年 235,000	E増減額 △ 3,000	前年比 99.8%	内訳	0	変 更 見 込 み 県支出金 30,000	0	1,271,000	△ 66
<b>-</b> □		コスト分	主に職員人件費の <sup>1</sup>	増に伴うものである 事業指標・i	平価	値│日標値	R4年度 日標値   実績値	R5年度 日標値 = 集値	R6年度	PLAN取り	亍 十 画	Y   Y   Y   Y   Y   Y   Y   Y   Y   Y	会の開催 回額 前年 235,000 カ年消防クラブ 可別訪問指導()	E 増減額  △ 3,000  、消防団と こよる住宅	前年比 99.8% 連携した街頭加 用火災警報器の	内訳 大報、消防	国庫支出金 0 5広報誌の発刊 推持管理の推進	変 更 見 込 み 県支出金 30,000 R7 +R7年	0		△ 66
[		コスト分	主に職員人件費の <sup>1</sup>	増に伴うもの である	<b>5</b> .		R4年度 目標値 実績値 達成率 評価	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価	P L A N 利	于 十 画 事	計画 1,23 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	会の開催 回額 前年 235,000 カ年消防クラブ	E 増減額  △ 3,000  、消防団と こよる住宅  バントなどの	前年比 99.8% 連携した街頭が 用火災警報器の 開催	内訳 大報、消防	0 方広報誌の発刊	変 更 見 込 み 県支出金 30,000 R7 +R7年	0	1,271,000	△ 66
H E C K 評		コスト分析 指	注に職員人件費の <sup>1</sup> 指2 おびま	増に伴うものである 事業指標・記 標名	平価 単 現状値 位 年度	年度 年度	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	PLAN取り組み・	了十 国 事 養	Ye	会の開催 画額 前年 235,000 カ年消防門指導で 対外対象物の が大火対象物の	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	変 更 見 込 み 県支出金 30,000 R7 年度 比較	0	1,271,000	△ 66,
H E C K 評		コスト分析 指標評	注に職員人件費の <sup>1</sup> 指2 成果 1 住宅用火	増に伴うものである 事業指標・i	平価 単 現状値 年度 率 % 66.0 0	年度 69.0 0	目標値実績値達成率評価70.065.193.0%B	目標値実績値達成率評価71.069.898.3%B	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B	PLAN取り組み・DO 写名言画写第一字	了十 国 事 養	Ye	会の開催 画額 前年 235,000 カ年消防門指導で 対外対象物の が大火対象物の	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進	変更見込み 県支出金 30,000 R7 年度比較増減	0	1,271,000	△ 66,
H E C K 評価		コスト分析 指標評	注に職員人件費の <sup>1</sup> 指2 おびま	増に伴うものである 事業指標・記 標名	平価 単 現状値 位 年度 率 %	年度 69.0 0	目標値実績値達成率評価70.065.1	目標値実績値達成率評価71.069.8	目標値実績値達成率評価72.073.8	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	テ 十 国 事 養 日	Y	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	変更見込み 県支出金 30,000 R7 年度比較増	0	1,271,000	△ 66,
H E C K 評価	坦	コスト分析 指標評価主 ニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニー	まに職員人件費のが 指導 成果 1 成果 2	増に伴うものである 事業指標・言 標名 災警報器の設置	平価	年度 69.0 0 0.0 0	目標値実績値達成率評価70.065.193.0%B	目標値実績値達成率評価71.069.898.3%B	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B	PLAN取り組み・DO 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	変更見込み 東支出金 30,000 R7 年度比較増減要因 ・R8年	0 度と比較し同名	1,271,000	△ 66,
HECK評価 拷樹・	坦	コスト分析 指標評価	注に職員人件費の 指 成果 1 成果 2 効率 1 広報1回	増に伴うものである 事業指標・記標名 災警報器の設置:	平価	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S	目標値 実績値 達成率 評価 72.0 73.8 102.5% B 0.0 0.0 39.0 80.2 205.6% S	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	テ 十 国 事 養 日	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	変更見込み   1	0 度と比較し同名	1,271,000	△ 66,
HECK評価 抖材・写放	指票・実施 	コスト分析 指標評価 ①た	まに職員人件費のが 成果 住宅用火 成果 2	増に伴うものである事業指標・記標名 「要報器の設置に 数をもりの平均世帯 消防団と連携した	平価	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0	目標値 実績値 達成率 評価 72.0 73.8 102.5% B 0.0 0.0 39.0 80.2 205.6% S	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	で表現	0 度と比較し同名	1,271,000	△ 66,
H E C K 評価	指票・実施内容	コスト分析 指標評価 ①た②	注に職員人件費のが が成果 住宅用火 成果 2 数	増に伴うものである事業指標・記標名 禁報器の設置: あたりの平均世帯 消防団と連携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ト及び防火ポスタ	平価     単 現状値     年度     本	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B0.00.039.080.2205.6%S集持管理を推進し	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	変更見込み	0 度と比較し同名	1,271,000	△ 66,
H E C K 評価	指票・実施内容	コスト分析 指標評価 事業	注に職員人件費のが が成果 住宅用火 成果 2 数	増に伴うものである事業指標・記標名 禁報器の設置: あたりの平均世帯 消防団と連携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ト及び防火ポスタ	平価     単 現状値     年度     本	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S 警報器の設置及び終	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B0.00.039.080.2205.6%S集持管理を推進し	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記	内訳 太報、消防 の設置、約 許認可事	0 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務	で   で   で   で   で   で   で   で	0 度と比較し同名	1,271,000	一般財源 △ 66,
村・写がけ	指票・実施内容	コスト分析 指標評価 事業実施主 1 (1) た②③	注に職員人件費のが が成果 住宅用火 成果 2 数	増に伴うものである事業指標・記標名 禁報器の設置: あたりの平均世帯 消防団と連携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ト及び防火ポスタ	平価     単 現状値     年度     本	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S 警報器の設置及び終	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B0.00.039.080.2205.6%S集持管理を推進し	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2:幼戸消防防衛 実施	会の開催 一額 前年 235,000 カ年消防時型インラブ 対外対対対対対対対対対対対対対対対対対が が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 が大火ででする。 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、シャンでは、 がたり、	<ul> <li>単減額</li> <li>△ 3,000</li> <li>、消防団といるなどの</li> <li>、1次</li> <li>、1の</li> /ul>	前年比 99.8% 連携した街頭原 用火災警報器の 開催 への立入検査 危険物施設の記 会や菊川市危	内訳 大報、消防の 大報でである。 大部でである。 大語である。 大語である。 大語である。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるであるである。 たるである。 たるである。 たるであるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるである。 たるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	の 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務 :協会事務を通じた	で   で   で   で   で   で   で   で   で   で	0 度と比較し同名 度と同額程度の	1,271,000	△ 66,0
H E C K 評価	指票· 実施内容	コスト分析 指標評価 事業実主 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	注に職員人件費のが が成果 住宅用火 成果 2 数	増に伴うものである事業指標・記標名 禁報器の設置: あたりの平均世帯 消防団と連携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ト及び防火ポスタ	平価     単 現状値     年度     本	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S 警報器の設置及び終	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B0.00.039.080.2205.6%S集持管理を推進し	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2 幼戸消防防智 実施内容 消防	会の開催 前年 235,000 から 135,000 から 13	■ 増減額  △3,000 、13,0	前年比 99.8% 連携した街頭店 用火催 入陰 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	内訳 内訳 本報 で 本報 で 本報 で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	の 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務 お公事務を通じた お会事務を通じた お会事を通じた	で表現	度と比較し同名度と比較し同名度と同額程度の	1,271,000 程度の見込みで の見込みである。	△ 66,
	指票· 実施内容	コスト分析 指標評価 事業実施内主 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	注に職員人件費のが が成果 住宅用火 成果 2 数	増に伴うものである事業指標・記標名 禁報器の設置: あたりの平均世帯 消防団と連携した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ト及び防火ポスタ	平価     単 現状値     年度     本	年度 69.0 0 0.0 0 36.0 0 匹、消防広報誌	目標値 実績値 達成率 評価 70.0 65.1 93.0% B 0.0 0.0 37.0 98.9 267.3% S	目標値 実績値 達成率 評価 71.0 69.8 98.3% B 0.0 0.0 38.0 92.6 243.7% S 警報器の設置及び終	目標値実績値達成率評価72.073.8102.5%B0.00.039.080.2205.6%S集持管理を推進し	PLAN取り組み・DO実 写名言画写第一字	5十回客卷 月一	内容 計 1.2 幼戸消防防智 実施内容 消防	会の開催 前年 235,000 から 135,000 から 13	■ 増減額  △3,000 、13,0	前年比 99.8% 連携した街頭店 用火催 入陰 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	内訳 内訳 本報 で 本報 で 本報 で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で ままま で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	の 方広報誌の発刊 推持管理の推進 務 協会事務を通じた	で表現	度と比較し同名度と比較し同名度と同額程度の	1,271,000 程度の見込みで の見込みである。	△ 66,

		業会計区		会計	担当課	消	肖防署	担	!当係			重点事業			福	祉会 認定こ	ども園 双	葉こども園	:に3事業所(ね 園、ジョブステ-	ーションして	ずおか菊	①②救命効果を 居合わせた方)に	よる応急手当	が必要不可欠で	あることから、
R6 総合計画		により、する。	1 防災	な環境で安か力を高めるるの防災活動の	まちづくり への参加を きするため、	を推進しま、救急講習	習等事業	習	息手当に関するī を実施するととも む事業所を推進す	に、応急手				事業	川が②命べ当事業成果	東、ツクイ った。 普通救命講 講習会(7回 る救命入門	5川)を認定 諸智会(44년 3、76人)、 コース(3년 び技術習	Eし、事業 回、485人) 救急一般 可、15組、 得の理解	a、ca - ラーニング 、e - ラーニング 講習会(36回、 31名)を開催し を深めてもらう	急手当の <sup>3</sup> グを活用し、654人)、 、、、も参ができ うことができ	普及に繋 た普通救 親子で学 に応急手	応急手当の重要 <sup>(</sup> 要がある。	生について継続	総合判定評価	を行っていく必
	子第一年二	9 1 R54	1 1	事業番号 1000000 6年度 217,000	救急講 前年増減 △ 75,0		美費 前年比 74.3%	財源内訳	事業名称		方債 その 0	D他 一般財活 0 160		価分析・総合判分	決算前年比 担当評	一般財源 64.8% A 3事業コスト 66.6% A 応急手当協	A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A  A	式 1 果 2 効 1 率	B A 規3事業所の	効率性 有効性 必要性 認定と25	祖視点 2: やや低い	評価内容 B 生産性改善 生産性が低い⇔ 「効率がわるい」	B コスト 改善	R8年度の方向 維持→ 成 ①事業の	性 維持→
事業コスト分析	算	サ源内訳 職総 <u>主財源</u>	項目の発生を表する。  現り、現のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対のでは、対	99. 203,8 19,0 174,9 103.6% 397,7 235.5% 等減災交付	000 760 240 2.7% 830 000 0 0 930 D 115.6 0 760 D 70.29	0 279,213	18 3 5 13 64.8%	17,000 36,070 01 30,930 02 85.7% 03 0 04 55,000 05 0 07 31,070 08 A 08 0 10 36,070 11 A 12 55,000 13	<ul> <li>給料</li> <li>職員手当等</li> <li>共済費</li> <li>災害補償費</li> <li>恩給及び退職年金</li> <li>報償費</li> <li>旅費</li> <li>交際費</li> <li>需用費</li> </ul>	決算額 CC CC CC CC CC CC 186,070 CC	費内訳 16 公有5 17 備品 18 與担金。 19 扶助 20 貸付 21 補償。 22 償還金。 23 投資 24 積立 25 寄附 26 公課 27 繰出 5 合計	才産購入費 購入費 輸助及び交付金 費 金 均及び賠償金 均子及び割引料 なび出資金 金	O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	加える変化	価 ①②率 款 9 R7年度 東施内容	な講習 項 1 額 316,000	について <sup>材</sup> 目 1 前年 <sup>増</sup>	急討してい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業番号 1000000 前年比 145.6% F及び管理	命講習会		県支出金 88,000 下期実施内容変		-ニングを活用し	た講習会など 一般財源 228,000
	ニスト矢材	コ 消耗品 ス ト テ	コストは前年1費と修繕料の										P L A	実行	-	計画額	前年增		前年比 195.3%	財源内訳	国庫支出金	更 見 込 み 県支出金	地方債	その他	一般財源
CHECK評価 指標・実施内容		<b>1</b> 果 2 本 1 念ラ・ 1 次 2 本 1 念ラ・	1回当たり	票名 講習会(一般 数 の講習会参 等所を認定し	という はない はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま	単 現状 年月 12.0 0.0 0 人 9.3 1	度 年 0 12 0 0 1 3 8	F度 達 2.0 7 1 0.0 0 0 3.0 7 1	R4年度       標値     実績値       成率     評価       2.0     12.0       00.0%     B       0.0     0.0       8.0     8.9       11.3%     A       重講習会を開催し	目標値 達成率 12.0 100.0% 0.0 8.0 65.0%	年度 実績値 評価 12.0 B 0.0 5.2 E	R6年度       目標値     実績       達成率     評価       12.0     12.0       100.0%     B       0.0     0.0       8.0     9.3       116.3%     A		計画事業 円〕	R4年度 以	•普通教手入	資機材の順合のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等の開催業所の認定	事業の目	的と実施に	内容との関連性	・整る。 ・あ ・あ ・あ ・数増減要因	↑画に基づく消 ある。 」の説明	0   0   1   1   1   1   1   1   1   1	より、増額見

象年度	事第	<b>集会計区分</b>	一般	设会計 担	当課	消防署	担当係			重点事業			①空気呼吸器等の 円)、移動式高圧3					①各種資機材の更必要である。	更新及び新規	構人は計画的に	実施すること
R6	:	事業名	消防救助	]活動事業									災害に即時対応で	きる出動体	制が確保できた。			②複雑多様化する			
	身	基本目標	4 快通		 て暮らせるま	ち							②関係機関との合空隊:救助消火、	R東海:線路	内事故対応、萊	川警察署	∵事故対	的訓練を継続する 必要がある。	っとともに、関係	<b>徐機関との連携を</b>	更に強化す
		政策		方力を高めるまた							-		応、災害救助犬:係助訓練(114時間)	闦壊家屋検索	等)、消防訓練	(600時間)	、及び救				
											-	事	連携強化が図られ		.C C、	- 圣诞 体刀	事				
		施策		5施設・設備・体 制の充実強化を			JJ. *** ±#	・田笠に必要	た姿掛けの敦供及	び適切な維持管理を	事	業成					業				
体系・概要	事業	事業によ	り、資機材	でを計画的に整備 爻害対応力を向。	するとともにタ		行うととける迅速	もに、各種災		上実施し、災害時にお	C H E	果					題				
要	業の目						業     の     概				C K				<b></b> -						_
	的						要				一部一	.			各評価約	· 果 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				総合判定評価	<b>ti</b>
											計	<u>.</u>	事業コスト評価	į	旨標評価 		事業内容	評価	B 事第	美の進め方の改	6の給討
											分	決算	一般財源	成	1 A	評	平価視点	評価内容		K 47 /2 47/3 47 4X 1	
													115.5% D	果	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R8年度の方向	性
	_	款項		事業番号				事業名称			総	年	総事業コスト	効	1 B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果		縮小↓ 成	果維持
	予算	9 1		300000	消防救助活動	動事業費					総合	比	109.7% D	率		必要性	4:高い	に近い状態⇔「計 画通り」	改善	①事業の	の進め方
		R5年	·度 F	R6年度 前	<b></b>	前年比	74.1 (1/1)	支出金 県支	出金 地方債 その	の他 一般財源	定記	担	①②各種災害に対	応するため	、資機材の更新	を効率的に	こ行うとともに、弁	医実した訓練を実施	直することで消	防力の向上が図	られた。
	用」	4,62	28,000	5,137,000	509,000	111.0%	内訳	0 805	5,000 0	0 4,332,000	評	担当									
											- 1111	i   評   価									
			<b>頁目</b>	R4年度	R5年度	R6年月		rh-	事業費内訳	**		ļ			一田 日本 ノー ナム・	十九十十二	ちしおウナムスポ	田でがんなってた	5 h4		
			·算額 :算額	2,681,000			7,000 5,421 O1 報	節	決算額         1           0         16         公有	節 決算額	A C	1)(2	大規模災害や特異	災害に備え				果及び今後の方向 具消防防災航空隊		大部等との合同	訓練や宝
			:异母 :用額	2,637,511			1,579 02 給		0 16 公有		T 1	1 に則	んが快め古い行為 した効果的な訓練を 管理を行っていく。	を継続し、知	識・技術・能力の	向上を図る	るとともに、消防	救助資機材の更新	所計画の見直し	を行い、計画的	かつ適切な
			/// · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	98.4%	,	_	98.6% 03 職		0 18 負担金			.  持・	管理を行っていく。								
			庫支出金	00.17		0	0 04 共流		0 19 扶助		O N 変										
事		<u></u>	県支出金	451,000	845,00	00 807	7,000 05 災		0 20 貸付		改 11	;									
業コ	決算		地方債	C		0	0 06 恩約	i及び退職年金	0 21 補償、	補填及び賠償金 (	善										
ス	角	内	その他	(		0	0 07 報	賞費	0 22 償還金	た、利子及び割引料 (			款 項	目	事業番号			事	事業名称		
トム	Ŧ)		一般財源	2,186,511	3,686,38			-		及び出資金 (			9 1	1	300000	消防	放助活動事業費				
						445.50	ㅁ ᅃ ᄎ	<b>卒書</b>	0 24 積立	_											
分析	)	育	前年比較	84.9% A	168.6% D		D 09 交							前年増減額	前年比	財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
析	]	職員	人件費	231,000	87,00	00	0 10 需	用費	1,273,512 25 寄除	付金 (			19,749,000	14,612,00			0	県支出金 6,139,000	地方債	その他 ) 0	
析	]	職員総事	人件費 業コスト	231,000 2,868,511	87,00 4,618,38	00 34 5,065	0 10 需 5,421 11 役	用費 務費	1,273,512 25 寄附 44,000 26 公詡	対金 (			19,749,000 •消防救助資 •消防救助資	14,612,00 機材の整備 機材の維持	0 384.4% 管理及び保守点	内訳 検	0	6,139,000 下 期	地方債		
析	]	総事	人件費 業コスト 年比較	231,000 2,868,511 66.1% A	87,00 4,618,38 161.0% D	00 34 5,065 0 109.7%	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委	用費 答費 <del>毛料</del>	1,273,512     25     寄除       44,000     26     公課       746,119     27     繰出	対金 ( 果費 ( 出金 (		R7	19,749,000 •消防救助資 •消防救助資 •火災や救助	14,612,00 機材の整備 機材の維持 現場を想定	0 384.4% 管理及び保守点 した各種訓練等(	内訳 検 の実施	0	6,139,000 下 期 実	地方債 (		
析	]	職員総事:前年	人件費 業コスト 年比較	231,000 2,868,511	87,00 4,618,38 161.0% D	00 34 5,065 0 109.7%	0 10 需, 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用	用費 务費 毛料 料及び賃借料	1,273,512 25 寄附 44,000 26 公詡	対金 ( 果費 ( 出金 (		R7 年	19,749,000 •消防救助資 •消防救助資 •火災や救助	14,612,00 機材の整備 機材の維持 現場を想定 活動する隊	0 384.4% 管理及び保守点 した各種訓練等(	内訳 検 の実施	国庫支出金 0	6,139,000 下 期 実 み 施	地方債 (		
析	]	総事	人件費 業コスト 年比較	231,000 2,868,511 66.1% A	87,00 4,618,38 161.0% D	00 34 5,065 0 109.7%	0 10 需, 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用	用費 务費 毛料 料及び賃借料 事請負費	1,273,512     25     寄除       44,000     26     公課       746,119     27     繰出	対金 ( 果費 ( 出金 (		R7 年度	19,749,000 ・消防救助資・消防救助資・火災や救助・火災現場でた防火衣一式	14,612,00 機材の整備 機材の維持 現場を想定 活動する隊	0 384.4% 管理及び保守点 した各種訓練等(	内訳 検 の実施	0	6,139,000 下 期 実 治つ 施 内	地方債 (		
析	コス	まり は まま は まま は まま は まま は まま は まま は まま は	人件費 業コスト 年比較 震・津波対策	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金	87,00 4,618,38 161.0% D	5,065 0 109.7% 807	0 10 需 5,421 11 役; D 12 委; 7,000 13 使用 14 工 <sup>3</sup>	用費 务費 モ料 料及び賃借料 事請負費 材料費	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公詞 746,119 27 繰出 0 予備	付金 ( 果費 ( 付金 ( 精費 ( 5,065,421	P	R7 年度	19,749,000 ・消防救助資・消防救助資・火災や救助・火災現場でた防火衣一式	14,612,00 機材の整備 機材の維持 現場を想定 活動する隊	0 384.4% 管理及び保守点 した各種訓練等(	内訳 検 の実施	0	6,139,000 下期実施内容変更見込	地方債 (		
	П	開発   一	人件費 業コスト 年比較 震・津波対策	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金	87,00 4,618,38 161.0% D	5,065 0 109.7% 807	0 10 需 5,421 11 役; D 12 委; 7,000 13 使用 14 工 <sup>3</sup>	用費 务費 モ料 料及び賃借料 事請負費 材料費	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公詞 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計	付金 ( 果費 ( 付金 ( 精費 ( 5,065,421	P L A N	年度	19,749,000 ・消防救助資 ・消防救助教 ・消防牧物 ・火災現表 ・た防火を ・大防水 ・大防水 ・大防水 ・大防水 ・大防水 ・大防水 ・大防水 ・大防水	14,612,00 機材の整備 機材の維持 現場を想定 活動する隊	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内訳 検の実施 するための 財源	0	6,139,000 下期実施内容変更見	地方債		13,610
7析	コスト	開業を対象を表現している。   「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	人件費 業コスト 年比較 震・津波対策	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金	87,00 4,618,38 161.0% D	5,065 0 109.7% 807	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 工 15 原	用費 务費 モ料 料及び賃借料 事請負費 材料費	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公詞 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計	付金 ( 果費 ( 付金 ( 精費 ( 5,065,421	L A N 和	年度	19,749,000 ・消防救助助資 ・消防牧牧場・ ・火防火な ・大防火な ・大防水助の ・大防水の ・大防水の ・消防救助で ・大防水の ・消防救助で ・消防救助で ・消防救助資	14,612,00 機材の整維 場場を は が を が を が が を が が が が が が が が が が が	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内訳 検の実施があるための 財内 源訳	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み 東支出金 699,000	地方債 (一式の整備完	その他 0 7を予定していっ	一般財 4,638 3ことから、
	コスト	開業を対象を表現している。   「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	人件費 業コスト 年比較 震・津波対象 コストは前年空	231,000 2,868,511 66.1% A 乗等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オー	87,00 4,618,38 161.0% D	5,065 0 109.7% 807	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委i 7,000 13 使用 14 エ 15 原 D増及び空気が	用費 务費 毛料 単及び賃借料 事請負費 材料費 ジンベ保守点	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公課 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計 検による委託料の均	対金 果費 は金 情費 5,065,42 曽に伴うものである。	L A N 取 引 計	年度	19,749,000 ・消防牧助助 ・消火災災火 ・火防・火防・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・ ・ ・ ・ ・ ・	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み出金 (699,000 R7 年	地方債 (一式の整備完	う その他 う 0	一般財 4,638 3ことから、
	コスト分析	開業を対象を表現している。   「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	人件費 業コスト 年比較 震・津波対象 コストは前年空	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とな で気充填機オー	87,00 4,618,38 161.0% D つた。 バーホールにイ	00 34 5,065 0 109.7% 807 伴う需用費の	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 D 増及び空気オ	用費 务費 毛料 単及び賃借料 事請負費 オ料費 ジンベ保守点	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公調 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計 検による委託料の均	対金 ( 果費 ( 計費 ( ま費 ( まで) ( ま ) L A N 取 引 i	年度	19,749,000 ・消防牧助助 ・消火災災火 ・火防・火防・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・ ・ ・ ・ ・ ・	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み 3 会 699,000 県 699,000 県 7 年度比	地方債 (一式の整備完	その他 0 7を予定していっ	一般財; 4,639 3ことから、	
	コスト分析	開業を対象を表現している。   「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	人件費 業コスト 車比較 腰・津波対象 コストは高圧空	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オータ	87,00 4,618,38 161.0% D	00 84 5,065 109.7% 807 伴う需用費の	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委員 7,000 13 使用 14 エコ 15 原 ひ増及び空気オ	用費 务費 毛料 料及び賃借料 事請負費 オンベ保守点 1年度 実績値 ※評価 840.0	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公詞 746,119 27 繰出 0 予備 0 合計 検による委託料の増 をはなるを記料の増 をはなっても をはなっと をはなっと をはなっと をはなっと をはなっと をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも	対金 ( 果費 ( 対金 ( 請費 ( ま費 ( まで) (	LAN取り組み・	年度	19,749,000 ・消防牧助助 ・消火災災火 ・火防・火防・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・ ・ ・ ・ ・ ・	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み出金 (599,000 保 (7年度) R7 年度	地方債 (一式の整備完	その他 0 7を予定していっ	一般財 4,639 3ことから、
	コスト分析 指標評	前員事     主財源     本       主財源     事に     成1	人件費 業コスト 車比較 腰・津波対象 コストは高圧空	231,000 2,868,511 66.1% A 乗等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オー	87,00 4,618,38 161.0% D いた。 バーホールに ・評価 単 型 位 時間	00 34 5,065 109.7% 807 半う需用費の 現状値 目標 年度 年 0.0 1,20	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 票値 目標値 度 達成率 00.0 642.0 7 130.8%	用費 务費 毛料 料及び賃借料 事請 費 オンベ保守点 1年度 実績値 840.0 S	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計 株による委託料の均 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	対金 ( 果費 ( 計畫 ( 計畫 ( ま) (	LAN取り組み・DO 実行計画事業 (円)	年度 - 1	19,749,000 ・消防牧助助 ・消火災災火 ・火防・火防・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・ ・ ・ ・ ・ ・	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み 支 699,000 県 699,000 県 7年度比較増減	地方債 (一式の整備完	その他 0 7を予定していっ	一般財 4,639 3ことから、
	コスト分析指標	職総前地     主財源     総主     成 1 成       工移     工     工	人件費 業コスト 車比較 腰・津波対象 コストは高圧空	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オータ	87,00 4,618,38 161.0% D いた。 バーホールに ・評価 単 型 位 時間	00 34 5,065 109.7% 807 半う需用費の 現状値 目梢 年度 年 0.0 1,20 1 7	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エー 15 原 か増及び空気が 票値 目標値 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0	用費 务費 毛料 料及び賃借料 事請負費 オンベ保守点 1年度 実績値 ※評価 840.0	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公詞 746,119 27 繰出 0 予備 0 合計 検による委託料の増 をはなるを記料の増 をはなっても をはなっと をはなっと をはなっと をはなっと をはなっと をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも をも	対金 ( 果費 ( 対金 ( 請費 ( ま費 ( まで) (	LAN取り組み・DO実	年度 - 1	19,749,000 ・消防放物助助物物物 ・火火防火火防火火防火水水 ・ た	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み 支 699,000 県 699,000 県 7年度比較増減要	地方債 (一式の整備完	その他 0 7を予定していっ	一般財 4,639 3ことから、
指	コスト分析 指標評	職総前地     主財源 総主       成 1 成 2	人件費 業比較 ま比津波対策 は高圧空 指 調練時間	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オータ 事業指標 標名	87,00 4,618,38 161.0% D	R状値 目標 年度 年 0.0 1,20 0 0 0	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委員 7,000 13 使用 14 エコ 15 原 ひ増及び空気オ の増及び空気オ ののの 642.0 7 130.8% 0 0.0	用費 务費 毛料 手請負費 オンベ保守点 「年度 実績値 840.0 S 0.0	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰出 0 予備 0 合計 検による委託料の増 をはなるを表に対しては、 をはないでは、 はないでは、 をはないでは、 では、 をはないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないではないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないでは、 をはないではないではないでは、 をはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	対金 ( 果費 ( 対金 ( 請費 ( まで) ( まで) ( まで) ( まで) ( 日本で) (	LAN取り組み・DO 実行計画事業 (円)	年度 - 11.	19,749,000   19,7	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000 下期実施内容変更見込み 支 金 9,000 県 699,000 県 7年度比較増減要因	地方債(一式の整備完費の減による対	その他 ) 0 了を予定してい。 減額見込みであっ	一般財 4,639 3ことから、 3。
指標・	コスト分析 指標評	職総前地     主財源     総主     成 1 成       工移     工     工	人件費 業比較 ま比津波対策 は高圧空 指 調練時間	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とな 空気充填機オータ	87,00 4,618,38 161.0% D	00 34 5,065 109.7% 807 半う需用費の 現状値 目梢 年度 年 0.0 1,20 1 7	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委員 7,000 13 使用 14 エコ 15 原 ひ増及び空気オ の増及び空気オ ののの 642.0 7 130.8% 0 0.0	用費 务費 毛料 料及び賃借料 事請 費 オンベ保守点 1年度 実績値 840.0 S	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計 株による委託料の均 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	対金 ( 果費 ( 計畫 ( 計畫 ( ま) (	LAN取り組み・DO実	年度 - 11.	19,749,000   19,7	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000   F期実施内容変更見込み 支	地方債 一式の整備完 費の減による が で で り い り り り り り り り り り り り り り り り り	その他 ) 0 . 了を予定してい。 成額見込みである。	一般財 4,639 3ことから、 3、 3、 3、 3、 3、 4、 4、 4、 4、 5、 5、 5、 6、 7、 7、 8、 8、 8、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、
指標・実施内	コスト分析 指標評	職総前地     主財源総主       成1成2効1消決       保護       10次	人件費       業比較       下式       訓       消入       海       大式       指       財       大   <	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とない。 事業指標標名 引数(消防・救助) 可資機材等の早期に対象の早期に対象のでは、 は消耗品・備品の 異災害への対応	87,00 4,618,38 161.0% D ・ でん。 ・ 評価 単	34   5,065   109.7%   807   109.7%   807   109.7%   1	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 管度 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0 0 0 100.0 100.0 5.検を実施した	用費 务費 毛料 手請 手請 手調 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計  核による委託料の均  R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 642.0 715.0 111.4% A 0.0 0.0	対金 (保費 (では できる) (では できます。 (では できます。 できます。 (では できます。 できます。 (では できます。	LAN取り組み・DO実	年度 - 1	19,749,000   19,7	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000       名       (139,000)	地方債 一式の整備完 費の減による が で で り い り り り り り り り り り り り り り り り り	その他 ) 0  で予定している である。 が、アディカルン	一般財 4,63% ることから、 ることから、
指標・実施	コスト分析   指標評価 事業	職総前地     主財源総主       成1成2効1消決       保護       10次	人業中       大件       大件       大井       大井   <	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とない。 事業指標標名 引数(消防・救助) 可資機材等の早期に対象の早期に対象のでは、 は消耗品・備品の 異災害への対応	87,00 4,618,38 161.0% D ・ でん。 ・ 評価 単	34   5,065   109.7%   807   109.7%   807   109.7%   1	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 管度 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0 0 0 100.0 100.0 5.検を実施した	用費 务費 毛料 手請 手請 手調 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計  核による委託料の均  を表している。 第一 642.0 715.0 111.4% A 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0% B	対金 (保費 (では できる) (では できます。 (では できます。 できます。 (では できます。 できます。 (では できます。	LAN取り組み・DO実 実行計画事業 (円)	年度 - 11.	19,749,000   19,7	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内 検 験 かまた があるた り り 検 り り り り り り り り り り り り り り り り	0)ガイドラインに沿	6,139,000       名       (139,000)	地方債 一式の整備完 費の減による が で で り い り り り り り り り り り り り り り り り り	その他 ) 0 . 了を予定してい。 成額見込みである。	一般財 4,639 3ことから、 3、 3、 3、 3、 3、 4、 4、 4、 4、 5、 5、 5、 6、 7、 7、 8、 8、 8、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、
指標・実施内	コスト分析 指標評価 事業実施	議事: 4 別       主財源 総主       成 1 成 2 効 1 消大月         最事: 4 別       工移       果 1 果 率 1 機間         1022       工機関	人業中       大件       大件       大井       大井   <	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とない。 事業指標標名 引数(消防・救助) 可資機材等の早期に対象の早期に対象のでは、 は消耗品・備品の 異災害への対応	87,00 4,618,38 161.0% D ・ でん。 ・ 評価 単	34   5,065   109.7%   807   109.7%   807   109.7%   1	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 管度 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0 0 0 100.0 100.0 5.検を実施した	用費 务費 毛料 手請 手請 手調 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計  核による委託料の均  を表している。 第一 642.0 715.0 111.4% A 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0% B	対金 (保費 (では できる) (では できます。 (では できます。 できます。 (では できます。 できます。 (では できます。	LAN取り組み・DO実 実行計画事業 (円)	年度 - 11.	19,749,000   19,7	14,612,00 機材の整維 関場動整 (新型を 14,411,00 ( 横材の を 14,411,00 ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( 横材の ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を ( を (	で で で で で で で で で で で で で で	内検実る財内検実のの源訳	0 がイドラインに沿	6,139,000   139,000   139,000	地 方 債 ( で 式 の 減 に し い ト に よ る 減 に い り に り に り れ り に り に り に り に り に り に り に	その他 ) 0 . 了を予定してい。 成額見込みである。	一般財 4,639 3ことから、 3、 3、 3、 3、 3、 4、 4、 4、 4、 5、 5、 5、 6、 7、 7、 8、 8、 8、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、 9、
指標・実施内	コスト分析 指標評価 事業実施内	議事: 4 別     主財源 総主       成1成2効1消大月       成2次       (22年)	人業中       大件       大件       大井       大井   <	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とない。 事業指標標名 引数(消防・救助) 可資機材等の早期に対象の早期に対象のでは、 は消耗品・備品の 異災害への対応	87,00 4,618,38 161.0% D ・ でん。 ・ 評価 単	34   5,065   109.7%   807   109.7%   807   109.7%   1	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 管度 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0 0 0 100.0 100.0 5.検を実施した	用費 务費 毛料 手請 手請 手調 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計  核による委託料の均  を表している。 第一 642.0 715.0 111.4% A 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0% B	対金 (保費 (では できる) (では できます。 (では できます。 できます。 (では できます。 できます。 (では できます。	LAN取り組み・DO実 実行計画事業 (円)	年度 - 11.	19,749,000	14,612,00 機機現活の 年 14,417ののをする 増 14,417ののをする 増 14,417ののを 増 14,417ののを 増 14,417を維想を 増 14,417を推動を 増 14,417ののを 付 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417ののののを 14,417のののののののののののののののののののののののののののののののののの	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内 検 り す り り 検 実 が り 検 実 を し と し と し と し り し り し と り し と り し と り し と り し と り と り	内容との関連性	6,139,000   139,000   139,000	地方債 (一費の滅に (レットによる) (カリットの)	その他 ) 0 了を予定している 減額見込みである。 う、バーティカルに ごうを予定している は見込みである。	ストレッチャー ることから値
指標・実施内	コスト分析 指標評価 事業実施	議事: 4 別     主財源 総主       成1成2効1消大月       成2次       (22年)	人業中       大件       大件       大井       大井   <	231,000 2,868,511 66.1% A ま等減災交付金 に比べ増額とない。 事業指標標名 引数(消防・救助) 可資機材等の早期に対象の早期に対象のでは、 は消耗品・備品の 異災害への対応	87,00 4,618,38 161.0% D ・ でん。 ・ 評価 単	34   5,065   109.7%   807   109.7%   807   109.7%   1	0 10 需 5,421 11 役 D 12 委 7,000 13 使用 14 エ 15 原 か増及び空気が 管度 達成率 00.0 642.0 7 130.8% 0 0.0 0 0 100.0 100.0 5.検を実施した	用費 务費 毛料 手請 手請 手調 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	1,273,512 25 寄除 44,000 26 公割 746,119 27 繰比 0 予備 0 合計  核による委託料の均  を表している。 第一 642.0 715.0 111.4% A 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0% B	対金 (保費 (では できる) (では できます。 (では できます。 できます。 (では できます。 できます。 (では できます。	LAN取り組み・DO実 実行計画事業 (円)	年度 - 11.	19,749,000   19,7	14,612,00 機機現活の 年 14,417ののをする 増 14,417ののをする 増 14,417ののを 増 14,417ののを 増 14,417を維想を 増 14,417を推動を 増 14,417ののを 付 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417ののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417のののを 14,417ののののを 14,417のののののののののののののののののののののののののののののののののの	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	内 検 り す り り 検 実 が り 検 実 を し と し と し と し り し り し と り し と り し と り し と り し と り と り	内容との関連性	6,139,000   139,000   139,000	地方債 (一費の滅に (レットによる) (カリットの)	その他 ) 0 了を予定している 減額見込みである。 う、バーティカルに ごうを予定している は見込みである。	一般財 4,639 ることから、 ることから

象年月	度 事	業会	会計区分	一般的	会計 担当	<b>当課</b>	消防署	担当係	Ę		重点事業				(急現場で使用す の備品更新(4,69					①②多種多様化しつ			
R6		事	業名		 <header-cell> 業</header-cell>									サー	·等の修繕(660,92	24円)、医	療廃棄物の廃	棄処理(99	9,770円)、	命処置を実施する/	向上を図ると	ともに、正確な	観察や処置が
		基本	本目標	4 快適な	は環境で安心し	て暮らせるま	<u></u> ち					1			動器、ベッドサイ 2,500円)を実施し					実施できるよう、資施等を行っていく必		な維持管理と、	十画的な保守
					力を高めるまち									②救	(急資機材取扱い とで、現場対応能	Ⅷ練及び	救急現場を想						
	$\vdash$						<b>.</b>						事	/ =III 4	東時間:514時間)		U/2°		事				
	<u> </u>		施策		を設・設備・体制			おみば	€4.122 m +>2	欠+燃++ の 軟 供 ひょご 文			事業						業課				
		15	こより、資材	幾材を計画	の充実強化を 的に整備する。	とともに救急を		とともに	、救急現場	負機材の整備及び適 を想定した各種訓練を	りの維持官理を行う を実施し、隊員の技		業成果	:					<del>                                    </del>				
休					芯力を向上する			術、能力	」、知識を高	める。													
体系												С											
が・一切	Į	事						事				Н											
· · · · · 概要		業						業				E											
		の 目						の     概				K											
	Á	的						要				評し					各評個	i結果 <del></del>				総合判定評	価
													評	事業	コスト評価	扌	<b>旨標評価</b>		事業内容	評価	B 事	業の進め方の改	美の栓針
													$\overline{\Lambda}$	.   -	-般財源	成	1 B	į	評価視点	評価内容	D #3	长07年8771076	古の仮引
													分析 算前		0.2% D	<b>#</b>	2	効率性	4:高い	A 現状維持		R8年度の方I	 句性
		j	款 項	<b>a</b>	事業番号				事業名称	,			総年	総事	事業コスト	効	1 A	有効性	4:高い	計画の進捗と成果	コスト	縮小↓ 」	<b>龙果</b> 維持
	音	<del>*</del> –					 <b>美</b> 費						合│比判		9.4% D	率		必要性		-に近い状態⇔「計 画通り」	改善		の進め方
	"		R5年度	₹ R6	6年度 前	年増減	前年比	74.7 (1/1)	東支出金 県支	医出金 地方債 そ	の他 一般財源		<b>—</b>	①救		自加したが	.計画的に資	機材を発注	することで、救急	活動に必要な資機を	オを不足させん	ることなく、安定	した救急活動
		<b>尹  </b> -	3,458,	,000	6,792,000	3,334,000	196.4%	内訳	0 18	6,000 0	0 6,606,00	0	定担当	<b>逐</b> 17 ②継	できた。 続した救急訓練	を行うこと	で、現場活動	スキルがア	ップした。				
			-T 5					_					一 評										
		F	項E 予算		R4年度 3,418,000	R5年度 3,458,00	R6年J		節	事業費内訳 決算額	節決算額						<b>=</b> 甲 旦百 / 一 :	オオスカ美	安レ相 宁される ぱ	<sup>戊果及び今後の方向</sup>	州		
		$\vdash$	 決算		3,344,657	3,303,62		5,833 O1 報		0 16 公有			. 10	2)高度	救命処置資機材	等の定期				適切に行うとともに、		や適切な救命処	置が実施で
		$\vdash$	不用		73,343	154,37		6,167 02 給		0 17 備品		0 T	加ァ	o、救急	訓練を継続してい	いく。							
			執行	率	97.9%	95.5		97.0% 03 職		0 18 負担金	金、補助及び交付金	O O	る										
_			国庫	支出金	686,672		0	0 04 共	済費	0 19 扶助		0 N	る変化										
事業	+   +   +	,	財	支出金	138,600	259,00	00 18	7,000 05 災	害補償費	0 20 貸付	<b>计金</b>	0 改	15										
	1   第	算 氵	源 地	方债	0		0		合及び退職年金			0 晋											
スト	.   F		章兄 ———	の他	0 510 005	0.044.00	0 0 000	0 07 報		0 22 償還金		0		款 g	項目	1	事業番号	## 4	<b>名江科市</b>	事	業名称		
分 析		ا ر		般財源  _ 年比較	2,519,385 105.1% D	3,044,62 120.8% D		8,833 08 旅 D 09 交		0 23 投頁	では で で で で で で と で と で に で の に の に の に の に の に の に の に の に の	0		<del>-</del>	予算額 前年	<u>'</u> 年増減額	200000	財源	急活動事業費 国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
析	Г	F	職員人		0		0	0 10 需		2,728,470 25 寄附		0				2.183.00				168,000	( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (		0 4,441
		F	総事業		3,344,657	3,303,62	8 6,58	5,833 11 役		445,493 26 公部		0			・救急資機材の					下			.,
			<del>**</del>	上較 上較	113.6% D	98.8% B	199.4%	D 12 委	託料	742,500 27 繰出	出金	0			<ul><li>・救急資機材の網</li><li>・救急医療廃棄物</li></ul>	維持管理. 物の廃棄	及び保守点検 <sub>の理</sub>			期			
			削牛口	- 12			10	7,000 13 使	用料及び賃借料	0 予備	<b>#</b> 費	0	R7	7		175 1202141				実 施			
			主地震・		等減災交付金		10		+=+ /2 ++	_			圧	実	・救急現場を想足		訓練等の実施	色		76			
		ļ	主 財		等減災交付金		10	14 I		0			年 度	実施	・救急現場を想知 ・消防車積載除統 ・消防車積載除統		訓練等の実施	包		内			
		;	主 財源	津波対策		o+-	10		事請負費 材料費	0 合計	6,585,83	3	年 度	実施内容	・救急現場を想足		訓練等の実施	包		内   容   変			
		が対象を	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	こ比べ増額となったものの、救急	資機材修繕に	こかかる修繕	15 原料増や、救急	材料費	- □ (伴う手数料増、また、	, ,		度	実施内	・救急現場を想足		訓練等の実施	色		内   容   変			
		が対象を	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	こ比べ増額とな	資機材修繕に	こかかる修繕	15 原料増や、救急	材料費	- □ (伴う手数料増、また、	, ,		度	実施内	・救急現場を想足		訓練等の実施	<b>也</b>		内容変更見込			
	7 H	コスト	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	こ比べ増額となったものの、救急	資機材修繕に	こかかる修繕	15 原料増や、救急	材料費	- □ (伴う手数料増、また、	, ,	P		実施内容	・救急現場を想定 ・消防車積載除約 ・消防車		訓練等の実施	財源	国庫支出金	内   容   変	地方債	その他	一般財活
	7 H	が対象を	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	□比べ増額とな とものの、救急 機材バッグの§	資機材修繕に 更新に伴う常仮	こかかる修繕	15 原料増や、救急	材料費	- □ (伴う手数料増、また、	, ,	P L A N	 実 行	実施内容	<ul><li>・救急現場を想象</li><li>・消防車積載除</li><li>計画額 前年</li><li>3,583,000 △</li></ul>	細動器(備 年増減額 1,026,000	記訓練等の実 計品)の購入 前品) 前年比	財源	国庫支出金	内容変更見込みの場支出金の	(	0	0 3,583
	7 H	コスト	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	こ比べ増額となったものの、救急	資機材修繕に更新に伴う常の	こかかる修繕 備消防用備品	15 原 料増や、救急 品購入費増が	材料費 件数増加に 要因である。 4年度	伴う手数料増、また。 R5年度	、救急活動訓練人形 R6年度	PLAN取	 実 行 計	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>計画額</li> <li>3,583,000</li> <li>△</li> <li>・救急資機材の</li> </ul>	細動器(備 年増減額 1,026,000 整備	i訓練等の実 i品)の購入 i品)の購入 in年比 in年比	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 県支出金 R7 ・備品購	(	その他 0 から減額となる	0 3,583
	7 H	コスト	主財源 総事業コス消耗品費に	津波対策 <sup>4</sup> トは前年に よ滅になった	こ比べ増額となたものの、救急機材バッグの『	資機材修繕に更新に伴う常の	こかかる修繕 講消防用備品	15 原 料増や、救急 品購入費増が 票値 目標値	材料費 件数増加に 要因である。 4年度 返 実績値	伴う手数料増、また。 R5年度 目標値 実績値	、救急活動訓練人形 R6年度 目標値 実績値	PLAN取り組	実行計画事	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 県支出金 の R7年度	(	0	0 3,583
	フ ト タ 木	コスト分析	主財源 総番組 業別 業別 業別 表別	津波対策	こ比べ増額となたものの、救急機材バッグの『	資機材修繕に 更新に伴う常位 評価 単 現	こかかる修繕 構消防用備品 記状値 目標 年度 年	15 原	材料費 (件数増加に 要因である。 4年度 (重 実績値) (基 評価)	(伴う手数料増、また、 R5年度 目標値 実績値 達成率 評価	、救急活動訓練人形         R6年度         目標値       実績値         達成率       評価	PLAN取り組み・	実行計画事業	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>計画額</li> <li>3,583,000</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 県支出金 の R7年度比	(	0	一般財別 0 3,583 見込みである
	フ ト タ 木	コスト分析   指票	主財源を消をできます。	津波対策	こ比べ増額とな さものの、救急 機材バッグの 事業指標・ 名	資機材修繕に 更新に伴う常位 評価 単 現	こかかる修繕 講消防用備品	15 原 詳料増や、救急 品購入費増が 票値 目標値 達成 達成 300.0 564.0	材料費 件数増加に 要因である。 4年度 <b>国 実績値</b> <b>三 評価</b> 636.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5	R6年度         目標値       実績値         達成率       評価         474.0       514.0	PLAN取り組み・D	実行計画事業 円	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出金 0 備品購	(	0	0 3,583
1 :: :: :: ::	フトタれ	コスト分析 指	主財源を消をできます。	津波対策等	こ比べ増額とな さものの、救急 機材バッグの 事業指標・ 名	資機材修繕に 更新に伴う常信 評価 単位 3 時間 1.4	こかかる修繕 構消防用備品 記状値 目標 年度 年	15 原   料増や、救急   末   末   末   末   日標値   112.89	材料費 件数増加に 要因である。 4年度 <b>国 実績値</b> <b>三 評価</b> 636.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5	、救急活動訓練人形         R6年度         目標値       実績値         達成率       評価	PLAN取り組み・DO	実行計画事業	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出金 0 備品購入 保存度比較増減	(	0	0 3,583
1	フトタホー	コスト分析と指標評している。	主財源を消費を受ける。	津波対策等	こ比べ増額とな さものの、救急 機材バッグの 事業指標・ 名	資機材修繕に 更新に伴う常信 評価 単位 3 時間 1.4	こかかる修繕	15 原   料増や、救急   末   末   末   末   日標値   達成項   10.0   564.0   7   112.89	村料費 件数増加に 要因である。 4年度 <b>主 実績値</b> <b>を 評価</b> 636.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0	PLAN取り組み・D	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出金 0 品	(入がないこと	のから減額となる	0 3,583 見込みである
H	ラータ木	コスト分析を指標評価	主財源 地 業品教 東 1 果 2 本 成 1 果 2 本 対 2 本 対 2 本 ・	津波対策	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの引 事業指標・名	資機材修繕に 更新に伴う常信 評価 単位 現 時 1,4	こかかる修繕	15 原   料増や、救急   末間   目標値   度 達成項   00.0   564.0   7   112.89   .0   0.0   0.0   90.0	村料費 (件数増加に要因である。 4年度 (を実績値 (636.0 (6) A (100.0	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出金 0	(入がないこと	0	0 3,583 見込みである
指標・実	シーク木 ・	コスト分析   指漂評画	主財源 総消及 成 1 成 2 効 1	津波対策等	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名	<ul><li>資機材修繕に</li><li>更新に伴う常値</li><li>時間</li><li>%</li><li>1.4</li></ul>	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 円	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出	(入がないこと	のから減額となる	0 3,583 見込みである
	シーク木 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析と指標評価で	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(入がないこと	のから減額となる	0 3,583 見込みである
指標・実	シーク木 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析と指標評価で	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名  特間  オ等の早期購入 消耗品・備品の	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(入がないこと	のから減額となる	0 3,583 見込みである
H	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析   指漂評面   事業	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名  特間  オ等の早期購入 消耗品・備品の	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実活品)の購入 前年比 が年比 が保守点検 の理	財源内訳	国庫支出金	内容変更見込み 出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(入がないこと	のから減額となる	0 3,583 見込みである
H	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析   指漂評画   事業実   1   1   2   2   2   3   3   3   3   3   3   3	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名  特間  オ等の早期購入 消耗品・備品の	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	<ul> <li>・救急現場を想象</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・消防車積載除</li> <li>・水島資機材の</li> <li>・救急資機材の</li> <li>・救急医療廃棄</li> </ul>	無動器(備 年増減額 1,026,000 整備管理 物の廃棄:	i訓練等の実 i品)の購入 77. 及び保守点検 処理 i訓練等の実	財源 内訳	0	内容変更見込み 出 で	人がないこと 王度と同額程	のから減額となる	0 3,583 見込みである
H	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析 指漂評価 事業実施内	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名  特間  オ等の早期購入 消耗品・備品の	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	実施内容	・救急現場を想象・消防車積載除 ・消防車積載 前年 3,583,000	細動 増、1,026,000 単乗利 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	i訓練等の実 i品)の購入 77. 及び保守点検 心理 i訓練等の実)	財源訳 ちゅうしょ 大田 おおま は おおま は まんしん とまん とまん は まんしん とまん は かんしん とまん は かんしん は は かんしん は は は は は は は は は は は は は は は は は は	西内容との関連性	内容変更見込み 出 の 備 つ の 品	人がないこと 主度と同額程	のから減額となる	0 3,583
指標・実施内	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コスト分析   指漂評面   事業実施	主財源     総消及び       成 1 戻 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 1 急       本 2 率 2 率       本 2 率 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 率       本 3 平 2 平 2 率       本 3 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平 2 平	津波対策等ははにの資料を表現である。	こ比べ増額となたまのの、救急機材バッグの事業指標・名  特間  オ等の早期購入 消耗品・備品の	資機材修繕に 更新に伴う常が 評価 単位 現 の時間 1,4	にかかる修繕 構消防用備品 記状値 目标 年度 年 477.0 1,20 1 0.0 0.0 0 0.0 100 1 100	15 原 	<ul> <li>材料費</li> <li>4年度</li> <li>実績値</li> <li>636.0</li> <li>A</li> <li>100.0</li> <li>A</li> </ul>	R5年度 目標値 実績値 達成率 評価 564.0 539.5 95.7% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	R6年度 目標値 実績値 達成率 評価 474.0 514.0 108.4% B 0.0 0.0 90.0 100.0 111.1% A	PLAN取り組み・DO実	実行計画事業 (円 )	<b>                                      </b>	・救急現場を想象・消防車積載除 ・消防車積載 前年 3,583,000	細動 増、1,026,000 単葉和物定 の で で で かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	i訓練等の実 i品)の購入 77. 及び保守点検 心理 i訓練等の実)	財源訳 ちゅうしょ 大田 おおま は おおま は まんしん とまん とまん は まんしん とまん は かんしん とまん は かんしん は は かんしん は は は は は は は は は は は は は は は は は は	西内容との関連性	内容変更見込み 出 で	人がないこと 主度と同額程	のから減額となる	0 3,583

			シート 会計区分		会計 担	当課	 消防署	担当係		重点事業				①公用車の維持管理を	を常に実施	をして、災害等に	迅速、確実な対応	①公用車を適切な	状態に保ち、緊急出動に備え	える必要がある
							<b>丹</b>	担当旅		里从尹禾				ができる体制を確保しる ②消防車両の売却(99	た。 20.001円)	により 財源を及	#保することができ			
R6	b				理事業(消防本				b. — . — . —					た。	90,0011 ]/	1-67, 10 11st CH	まはも のここが、こと			
	-		本目標				とともに、災害に	こよる被害の軽減	載を図り、安心・安全なま <sup>っ</sup>	ちつくりを目指す										
			政策	1 市民	等の安心・安全	きを守ります							事				事	=		
			施策		·、消防機材等の							事業	業							
					財産の保護とと そ全なまちづくり			各種災害に対 行う。	応するため、緊急車両等	の適切な維持管	理を	業	成果				討	<b>果</b>		
	<i>I</i> +		理事業(消	肖防本部)(	こより、消防本部	『で使用する公儿	用車を適													
総合計	体系		切に維持	管理する。							(	0								
計	• 概	事					事				l !	<del> </del>								
画	要	業の					業				(	2								
		目					の   概				i i	×	+			<b>₩</b> == /= /+			ᄵᄼᄭᄱᅼᆕ	: /TT
		的					要					二 評	$\vdash$	±	11-	各評価結		<del></del>	総合判定評	·1Ш
												価	<u> </u>	事業コスト評価	指 一	標評価	事業内		B 事業の進め方の改	で善の検討
												分 析	決		成	1 B	評価視点	評価内容		
													前	122.8% D D	果	2	効率性 4:高い	A 現状維持	R8年度の方向	<u> </u>
		予	款項	目	事業番号		(A)(-1   1   1-1	事	<b>美名称</b>			総合	年比		効	1 D	有効性 4:高い	計画の進捗と成果  に近い状態⇔「計		成果 維持一
		算	9 1 R5年)	1 	600000 R6年度 前	公用車管理費		は 国産 支 山 A	県支出金 地方債 名	その他 一般則	+酒	判	F	100.5%   D      ①災害出動に支障を来	率 をすことが		必要性 4:高い 管理ができた。	画通り」	改善①事業	の進め方
		闬			5,967,000	86,000					17原 17,000	総合判定評価	担当	②消防車両を売却する	ることで、具	け源を確保できた	20			
		)		.,	2,000,000	55,555				.,,,,	.,	価								
				目	R4年度	R5年度	R6年度		事業費内訳				価							
		-		算額 算額	6,008,000	5,881,000			決算額	節 決 有財産購入費	算額	<b>A</b>	1):	:完占棒だけでかく日党。	占焓を徳[		トる改善案と想定される ・両を常に適切な状態に		性 芯できる体制を確保していく。	
				<sup>异做</sup> ——— 用額	5,899,393 108,607		<u> </u>	3 02 給料			0 57,007	加 T え			M12 C 1827	8 7 0 C C C T	一面で 出て歴 初る 小心に			<b>)</b>
				·····································	98.2%					金、補助及び交付金	0	」る								
	由		国厂	庫支出金	0	0	)	0 04 共済費	0 19 扶	助費	0	る変化								
	事業	決	19.7	支出金	25,937		) (	0 05 災害補償			0	<u>څ</u>								
	コ	算	****	地方債 その他	1 650 000			0 06 恩給及び退 1 07 報償費		意、補填及び賠償金 基金、利子及び割引料	0 =	<b>*</b>		5 TO D		古坐平口		<del>-</del>	· ·業名称	
	<u>}</u>	闬	量尺	ての他 -般財源	1,659,999 4,213,457		· ·	6 08 旅費		資及び出資金	0		_	款     項     目       9     1     1		事業番号 600000	公用車管理費(消		·未位仦	
	分析	]		年比較	89.6% A	92.7% B		09 交際費	0 24 積		0			予算額 前年	増減額	前年比	財源 国庫支出金		地方債その他	一般財源
	1/1		職員	人件費	64,000	67,000	90,00	0 10 需用費	4,843,807 25 寄	附金	0			6,140,000	173,000		内訳	0 0	0 500,000	0 5,640,00
				<b>削しています</b>	5,963,393		· · ·		381,113 26 公		3,000			·公用車(緊急自動   維	動車12台	、連絡車2台)の	法定点検(車検5台)及	なび修   下     期		
			**	比較 i売払代金	124.7% D	98.1% B	100.5% D 960.00		0 27 繰	出金 備費	0		R7	・公用車の維持管 ・消耗品的備品の		、オイル交換等)	)	実		
					(契約保証金分)	)	,	0 14 工事請負		/// (用) (目)			年度	実 ・消防車両等の売 施	カ 記却			施内内		
			源		() () () ()	<u>,                                      </u>		15 原材料費		5,78	34,927		及	内				容		
					年度に比べ増額 5号(バッテリー3		トス雫田費と備	品購入費の増け	 二伴うものである。					容				更見		
		ス	T1-( /////1		тин (* • У У У		, omini e e im	III AFFO COLOR			F	<b>-</b>						込		
		分										L A 実		計画額前年	増減額	前年比	財源 国庫支出金	み 県支出金	地方債・その他	一般財源
С		析									<u> </u>	<b>Ⅵ</b> 行		6,014,000 △	126,000	97.9%	内訳	0 0	0 1,368,00	
H					事業指標			R4年度		R6年度		対画		・公用車(緊急自動機	動車12台	、連絡車2台)の	法定点検(車検8台)及	なび修 R7 各種交換 年	ݡ(タイヤ、バッテリー)修繕洞	域による減額。
C				指	票名		状値     目標値       E度     年度		積値     目標値     実績値       平価     達成率     評価			<b>組</b> 事		・公用車の維持管 ・消耗品的備品の		、オイル交換等)	)	度		
K 評		指	成果			0	0.0 14.0		4.0 14.0 14.0		4.0			・消防車両等の売				比		
価		標 評	1	法定点検	の実施台数	台 —	1 7	_	B 100.0% B		В	日 日						増減		
		価	成果			0	0.0	0.0	0.0 0.0 0.0	0.0				実施				要		
	指標		2				0 0					<b>美</b> 布	R8	施				因	5./ カノシー・ジ・・・ニロー ) /女 4羊 河	まょー レフンボタ石
	•		効率 1				0.0 0.0	+ -	0.0 2,859.0 0.0 D 0.0% D		D.0		年度	容				R9 日本	<b>渙(タイヤ、バッテリ一)修繕</b> 洞	ぬこみつ減殺。
	実					 去定点検(車検7	<u>- </u> 7台)及び修繕る		0.0%				度					度		
	施		②消防車	両(消防団	ポンプ車、資機	(材搬送車)を売	却した。											増		
	施内																	見込		
		事業																		
	内	事業実																7		
	内	実施内														事業の目	的と実施内容との関連		の説明	
	内	実												複雑多様化する災害に	に備え、常				の説明	
	内	実施内												複雑多様化する災害に	こ備え、常				の説明	